

後発品促進策(中医協)

後発品促進策

(中医協09年12月16日)

- 薬局の調剤基本料における「後発医薬品調剤体制加算」の見直し
- 薬局における含量違いまたは剤形違いの後発品への変更調剤の容認
- 医療機関における後発品を積極的に使用する体制の評価
- 保険医療機関および保険医療養担当規則(療養担当規則)等の改正。

後発品促進策

○「後発医薬品調剤体制加算」の見直し

- ・08年「後発医薬品調剤体制加算（要件＝処方せんベースでの後発品調剤率30%以上）
→加算の要件を数量ベースでの後発品の使用割合に改め、
→▽20%以上▽25%以上▽30%以上—の場合に段階的な加算を適用する
特に25%以上および30%以上を重点的に評価する。

○薬局における含量違いまたは剤形違いの後発品への変更調剤の容認

- ・処方せんに記載された先発品または後発品と含量規格が異なる後発品の調剤（10mg1錠に代えて5mg2錠など）や、先発品または後発品に類似した別剤形の後発品の調剤（口腔内崩壊錠に代えて普通錠など）を認める。

○医療機関における後発品を積極的に使用する体制の評価

- ・医療機関での使用を進める観点からは、後発品の採用決定体制を整えるとともに、後発品の採用品目数の割合が20%以上の場合、薬剤料を包括外で算定している入院患者に対する入院基本料の加算の形で、診療報酬上の評価を行う。

○保険医療機関および保険医療養担当規則（療養担当規則）等の改正

- ・保険医療機関や保険医の基本的な規則を定めた療養担当規則では、後発品使用の考慮加え、新たに患者が後発品を選択しやすくするための対応に努めることを規定する。

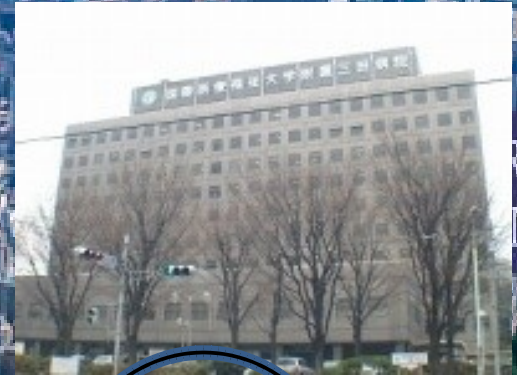


国際医療福祉大学

三田病院

ジェネリック医薬品の現状と 三田病院への導入事例

武藤正樹(国際医療福祉大学大学院教授)



国際医療福祉大学三田病院

2005年旧東京専売病院より継承
医師数120名、290床、
平均在院日数10日
入院単価65、000点
東京都認定がん診療病院
2008年7月からDPC対象病院

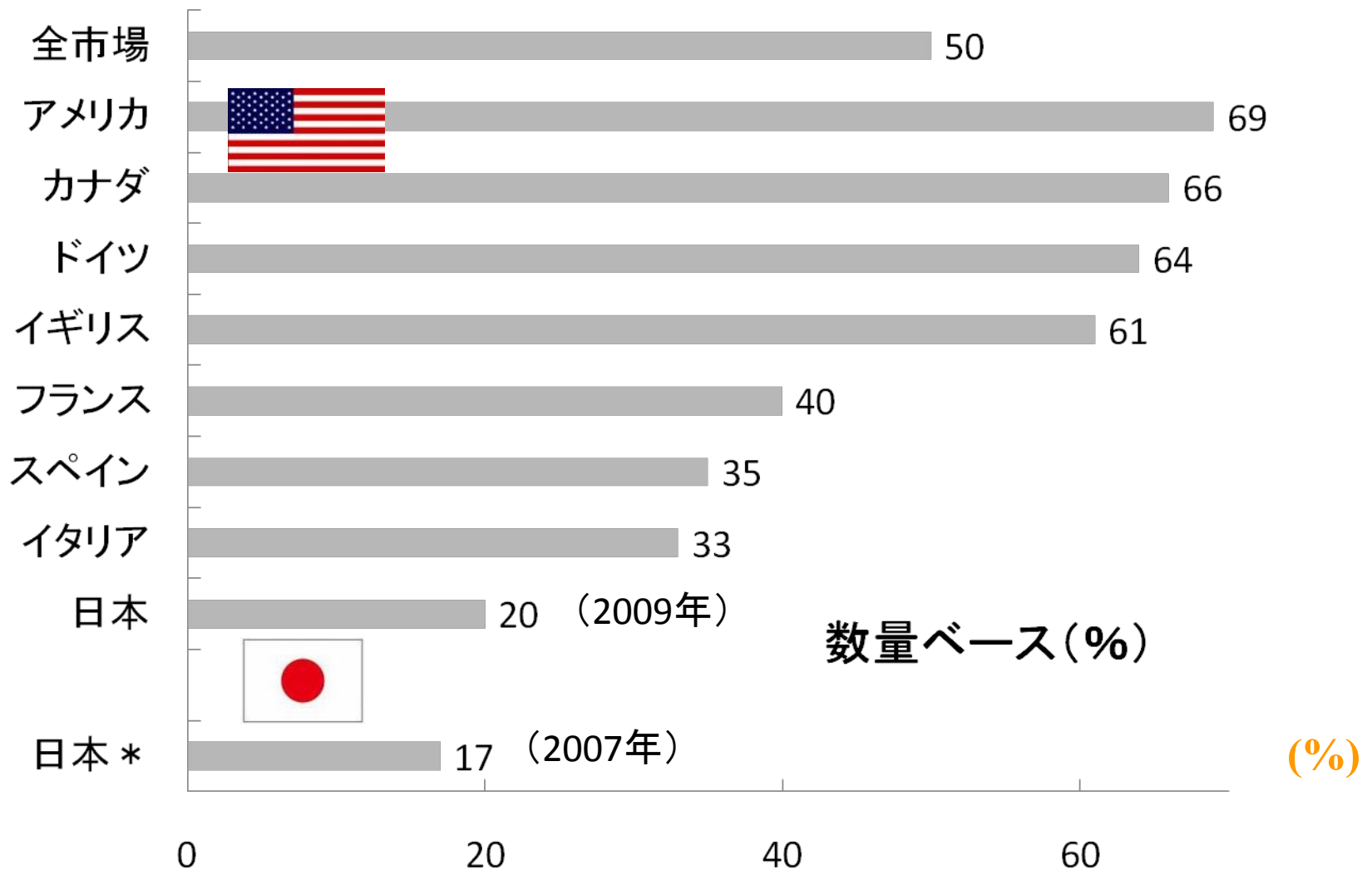
目次

- パート1
 - わが国におけるジェネリック医薬品の現状
- パート2
 - なぜ普及しないのか？
- パート3
 - 三田病院への導入事例から

パート1
わが国における
ジェネリック医薬品の現状



世界のジェネリック医薬品 (2008)

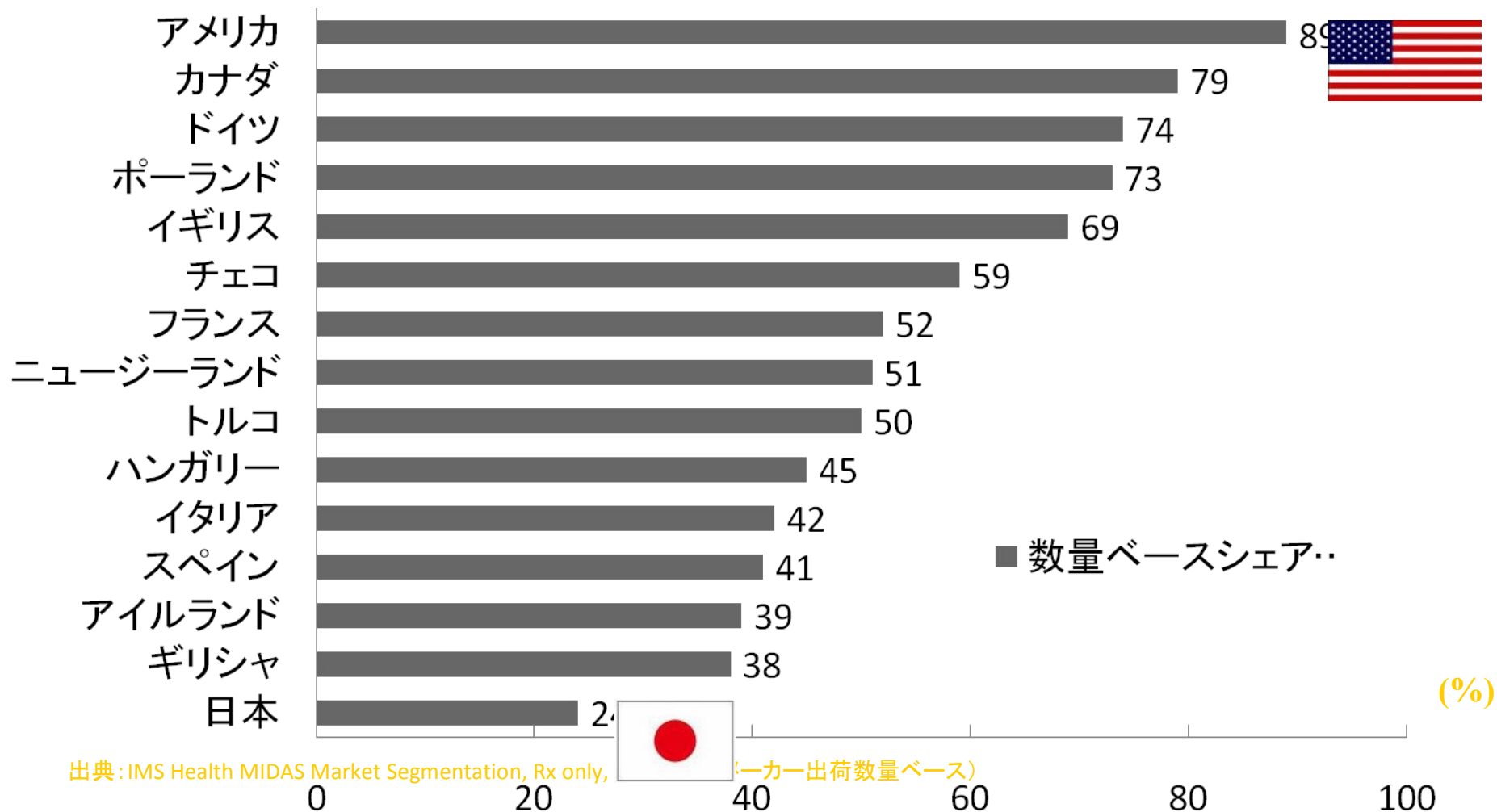


©2009 IMS Health. All right reserved.

出典：IMS Health MIDAS Market Segmentation, Rx only, Dec 2008. メーカー出荷ベース

日本※：日本ジェネリック製薬協会2007年度調査データ

長期収載品市場の ジェネリック医薬品シェア (2008)



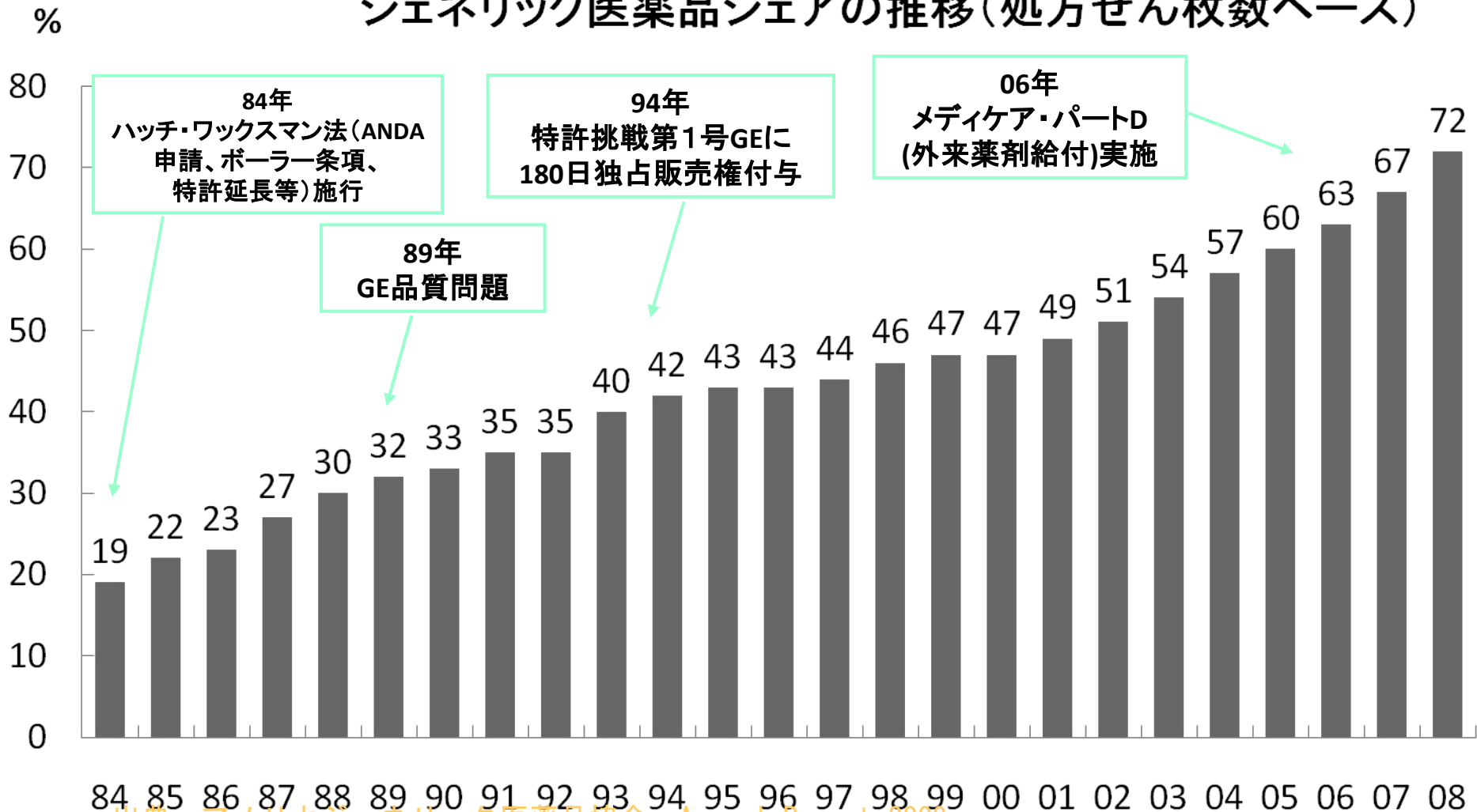
出典: IMS Health MIDAS Market Segmentation, Rx only,

(一カー出荷数量ベース)

米国のジェネリック医薬品シェア推移

日本の現状は米国の1984年

ジェネリック医薬品シェアの推移(処方せん枚数ベース)



出典：アメリカジェネリック医薬品協会 Annual Report 2009

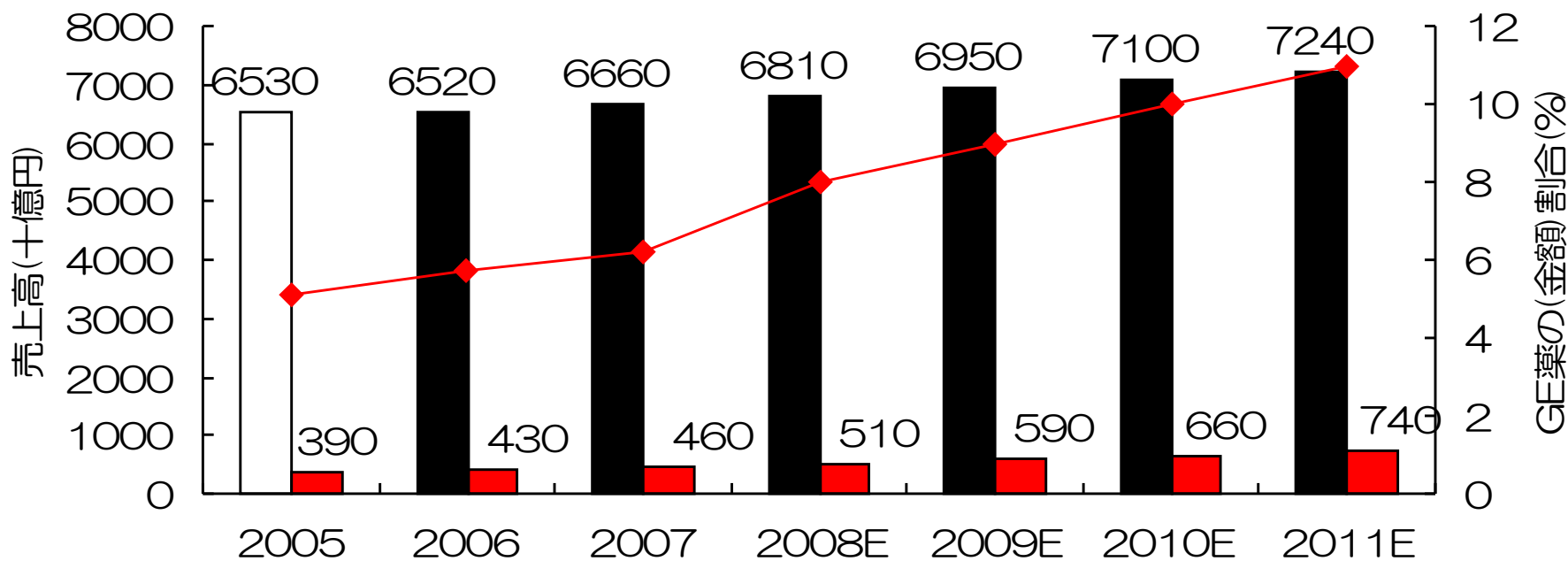
IMS Health, National Sales Perspectives TM, Nov 2008 (GE+ブランドドGE)

(2008年：Moving Annual Total, Nov. 2008)

(年)

我が国の医薬品市場の推移予測

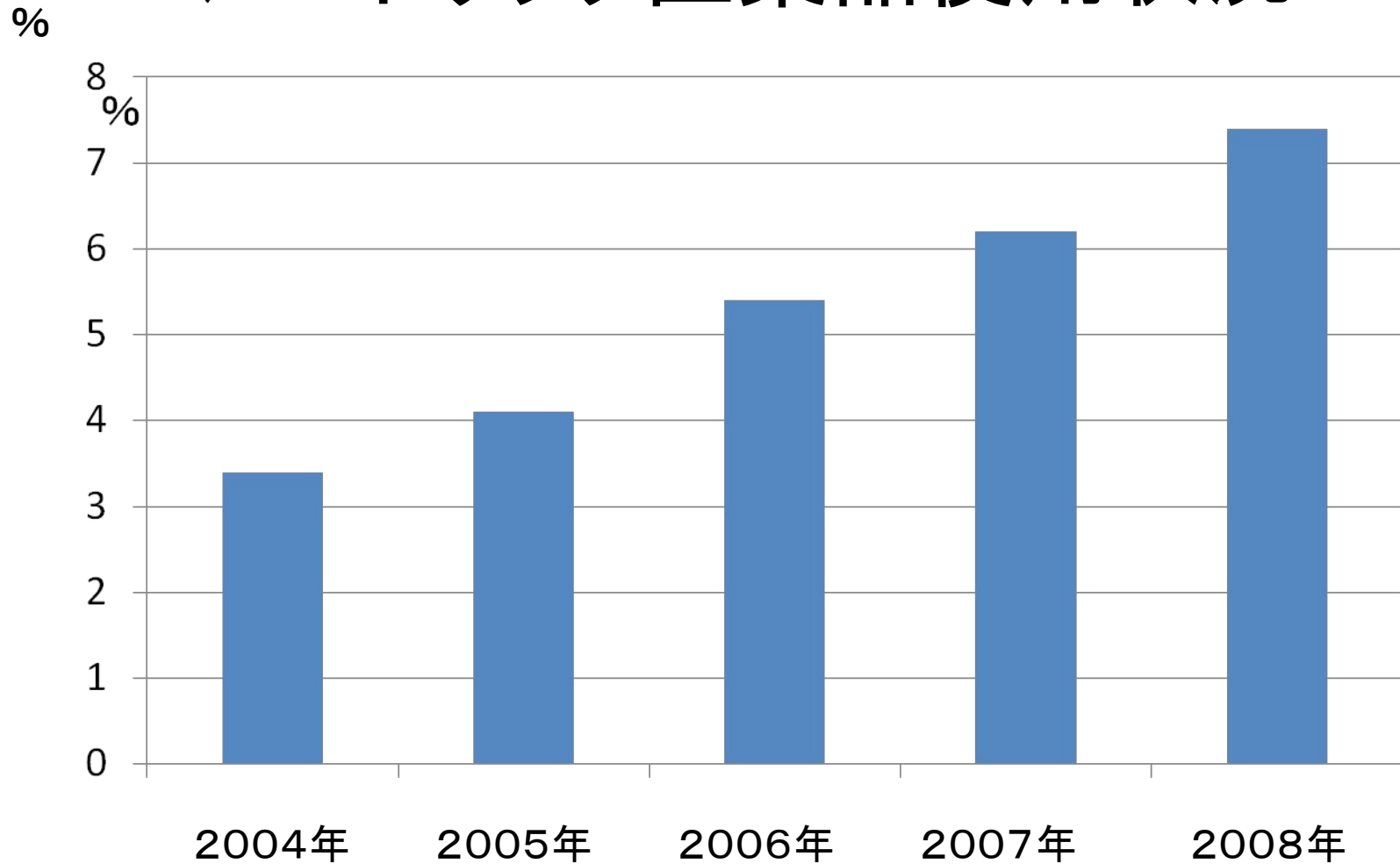
先発薬及びGE薬の市場規模推移



□ 先発薬の売上高(十億円) ■ GE薬の売上高(十億円) ◆ GE薬の金額割合(%)

出所: 矢野経済研究所

DPC対象病院・準備病院における ジェネリック医薬品使用状況



2009年5月中医協DPC評価分科会資料

2012年までに ジェネリック医薬品の数量シェア30%に！

- 経済財政諮問会議
(2007年5月15日)
 - 後発医薬品の数量シェアを2012年までに30%に、5000億円削減
 - 現在の市場シェア20%を30%までに！



経済財政諮問会議

パート2

なぜ、普及しないのか？



普及しない4つの理由

- (1) 医師・薬剤師の不安
 - ジェネリック医薬品の品質、情報、供給体制に対する不安
 - 1980年以前のジェネリック医薬品の「安かろう、悪かろう」イメージが払しょくできない
- (2) 薬価差益問題
 - 薬価差益: 医薬品の公定価格(薬価)と購入価格の差
 - 現在、薬価差は平均7%
 - ジェネリック医薬品は公定価格も安いので薬価差益も少ない→病院・診療所・保険薬局の経済的インセンティブが少ない

普及しない4つの理由

- (3) 患者にジェネリック医薬品が知られていない
 - テレビコマーシャルで「ジェネリック医薬品」という名称は浸透したが、どんな薬にジェネリック医薬品があるのか知られていない
- (4) ジェネリック医薬品普及の制度整備の遅れ
 - ジェネリック医薬品の品質再評価(1997年より)
 - 急性期病院における包括支払方式(DPC)(2003年より)
 - 代替調剤:処方箋様式の見直し(2006年より)
 - ジェネリック医薬品普及促進アクションプログラム(2007年より)

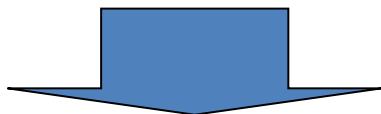
普及しない理由1
ジェネリック医薬品に対する
3つの不安
品質、情報、供給

医師のジェネリック医薬品に対する意識 調査

- 日経メディカルオンライン調査
 - インターネット調査
 - 08年8月医師642人
- 調査内容
 - 08年4月より処方せん様式が見直された
 - 医師が処方せん上で後発品を選ぶ率を調べた

処方箋様式の見直し

- 06年診療報酬改定
 - 後発医薬品への変更可に医師サイン



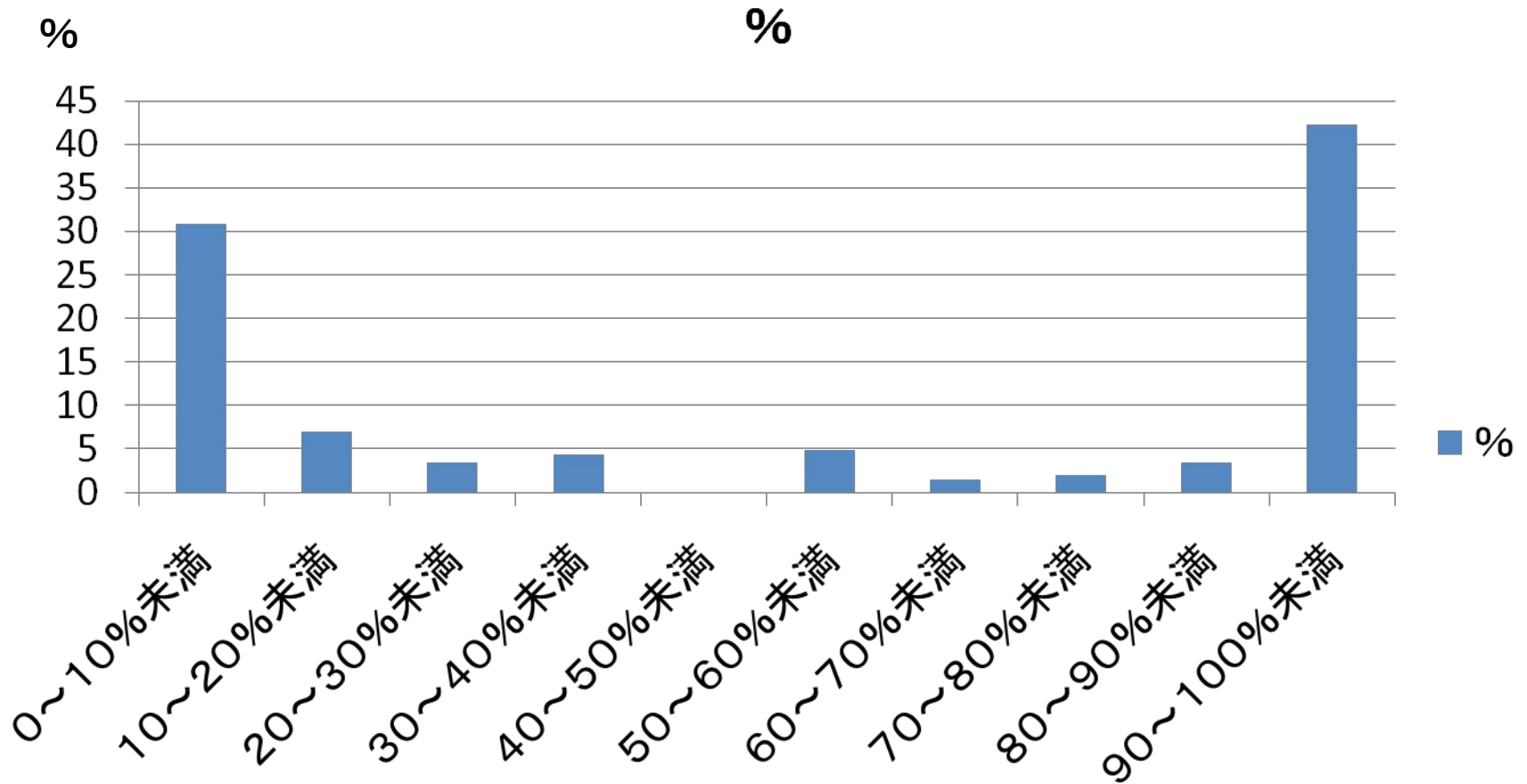
- 08年診療報酬改定
 - 後発医薬品への変更不可に医師サイン
 - 後発品を標準とする処方箋様式に見直し

(別紙1) 新たな処方せんの様式(案)

処方せん										
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)										
公費負担者番号		保険者番号								
公費負担医療の受給者番号		被保険者証・被保険者手帳の記号・番号								
患者	氏名				保険医療機関の所在地及び名称					
	生年月日	年	月	日	男・女	電話番号				
	区分	被保険者	被扶養者	保険医氏名						
交付年月日	平成	年	月	日	処方せんの使用期間	平成	年	月	日	物に記録のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内は保険薬局に提出すること。
処方										
備考	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 現行の「後発医薬品への変更可」から変更 後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更不可の場合、以下に署名 保険医署名 </div>									
調剤済年月日	平成	年	月	日	公費負担者番号					
保険薬局の所在地及び名称 保険薬局の氏名				公費負担医療の受給者番号						

備考 1. 「処方」欄には、薬名、含量、用法及び用法を記載すること。
 2. この用紙は、日本工業規格 A 列の用紙とする。こと。
 3. 医薬品の総称、老人医療及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令(昭和57年厚生省令第36号)第1条の公費負担医療については、「保険医療機関」とあるのは「公費負担医療の給付医療機関」と、「保険医氏名」とあるのは「公費負担医療の担当医氏名」と読み替えるものとする。こと。

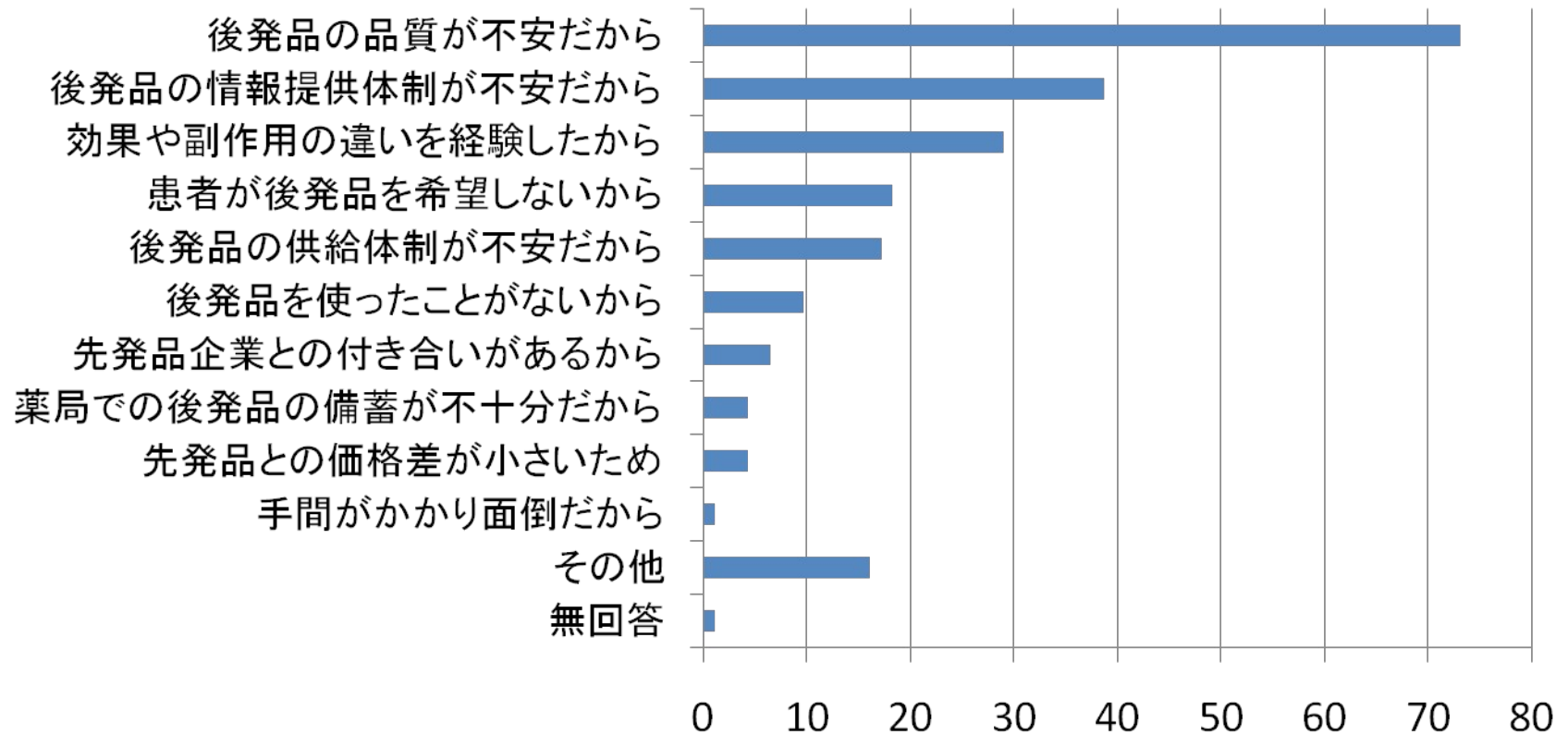
後発品への変更「不可」とする 医師の割合



N=642

後発品を不可とする理由は何ですか？

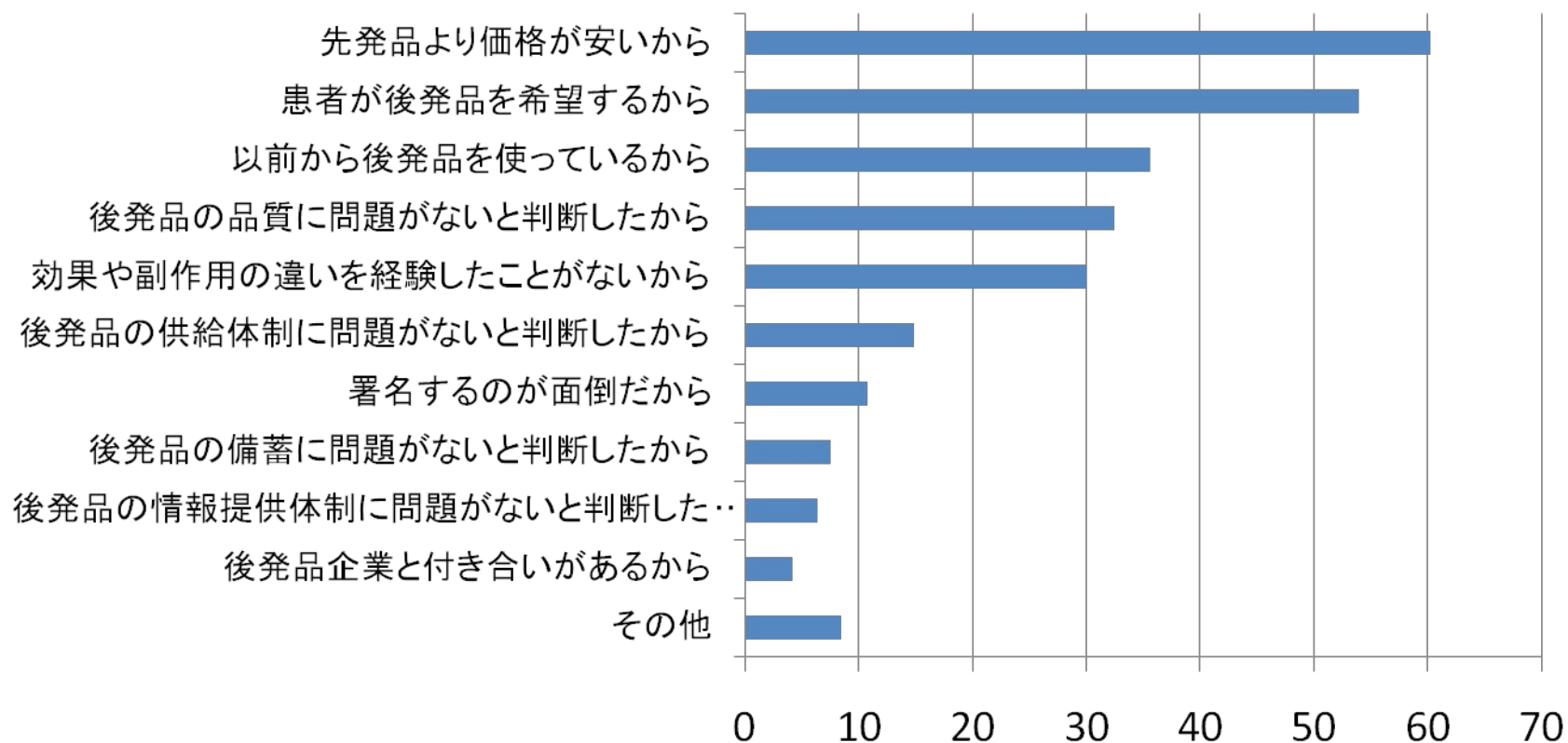
回答割合(%)



N=93

後発品を処方する理由は何ですか？

回答割合(%)



N=93

日本のジェネリック医薬品の
品質が、年々向上していること
が知られていない

後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン

日本における生物学的同等性試験の流れ

1. 1971年6月(昭和46年)薬務局長通知
「ウサギ、イヌなど大動物を用いた吸収、分布、代謝、排泄に関する資料提出」(動物による試験)
2. 1980年5月(昭和55年)薬務局長通知及び審査課長・生物製剤課長連名通知
「生物学的同等性試験に関する試験基準(健康成人による)」
3. 1997年12月(平成9年)医薬安全局審査管理課長通知
「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドラインについて」(再評価が義務付け)

年々、ジェネリック医薬品の承認申請の基準は高まっている！！

同
等
性

品
質

先発品との同等性・品質をどう担保するか	昔の後発品	現在の後発品
<p>溶出試験 試験液中での製剤からの薬物の溶け出す速度や量が同じかどうか</p>	<p>製造承認に要件なし</p>	<p>オレンジブック 一般的とされる胃液のpHから水まで4種類の試験液で時間を追って薬物濃度を測定し溶出挙動を調べ、先発品と同等であることを証明する</p>
<p>生物学的同等性試験 製剤を経口投与したときの薬物の血液中の入る速度や量が同じかどうか</p>	<p>動物実験</p>	<p>人での試験 通常、20人以上の健康な成人に製剤を投与し、時間を追って薬物の血中濃度を測定し、先発と同等であることを証明する</p>
<p>安定性試験 長期・過酷条件下の保存で規格からはずれることがないかどうか</p>	<p>経時変化の観察 条件の定めはなし</p>	<p>加速試験 パイロットスケール以上で製造された3ロットの製剤につき各3回の測定</p>
<p>実生産バリデーション 承認申請の各試験に使用された製剤と市場に出される製品が同じかどうか</p>	<p>製造許可に要件なし</p>	<p>製品の製造設備、手順、工程などの製造方法につき、試験に用いたものと同じ製剤を得られることを検証し、文書化する</p>

変更
→
1997年

変更
→
1980年

変更
→
1980年

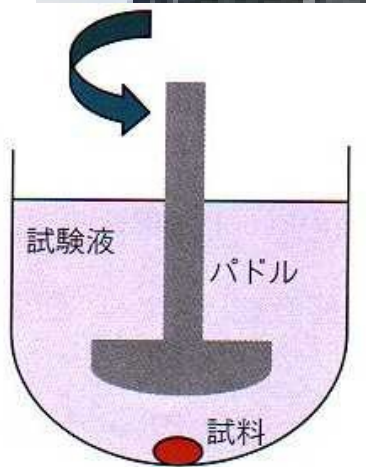
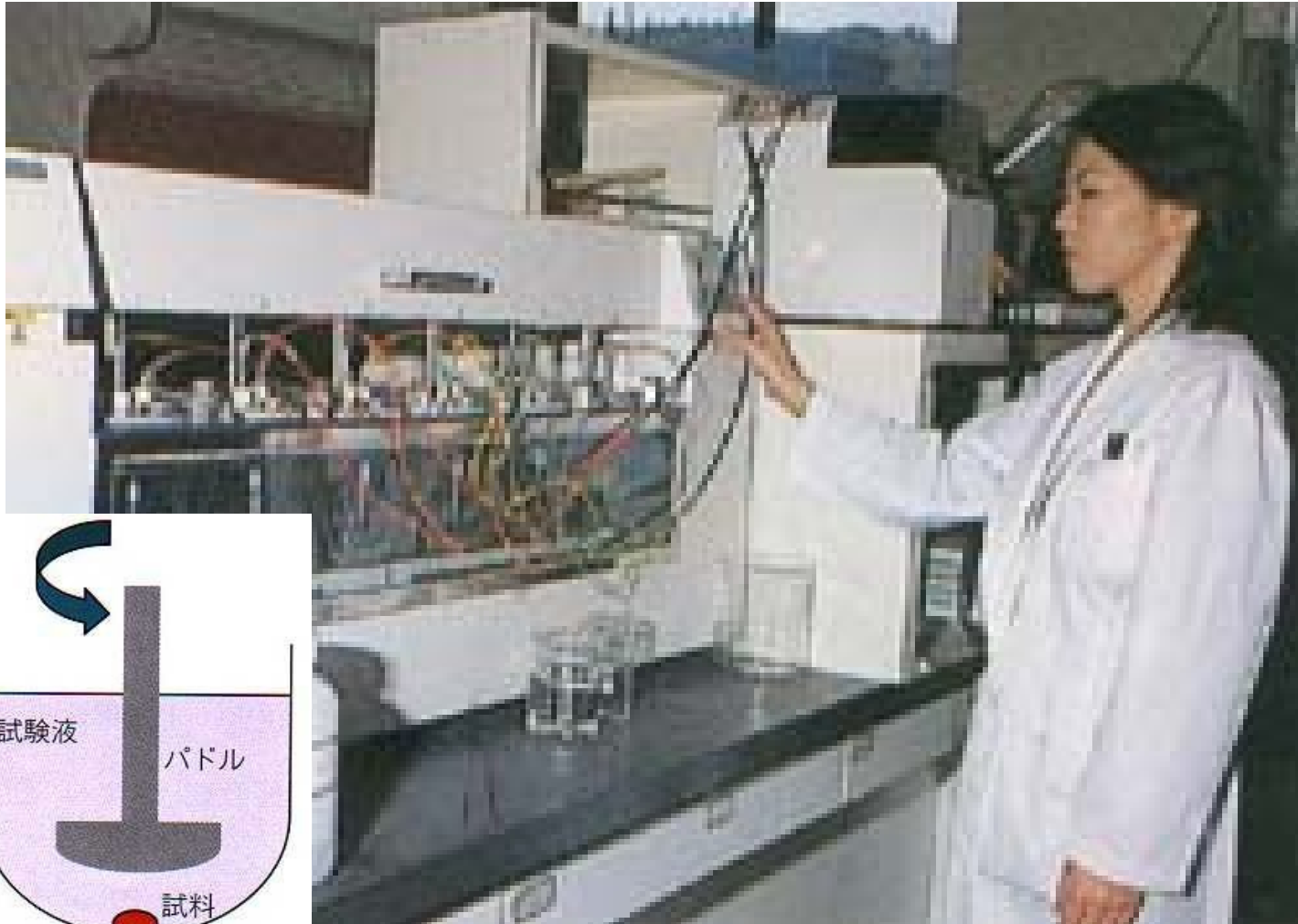
変更
→
1996年

後発医薬品の再評価

ジェネリック医薬品の品質保証

- 1997年
 - 「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドラインについて」
 - 「後発品は品質が劣る」との指摘を踏まえ、後発品の品質を確保する
 - 後発品の品質が、申請時の状態を保持していることを確認する
- 1998－2004年
 - 品質再評価（溶出試験）
 - 550成分、5000品目以上
- 1999年5月より
 - オレンジブック
- 2001年6月
 - 総務省勧告
 - 先発医薬品との比較データ一等等同性評価の情報を医療機関に提出を推進

溶出試験の実際



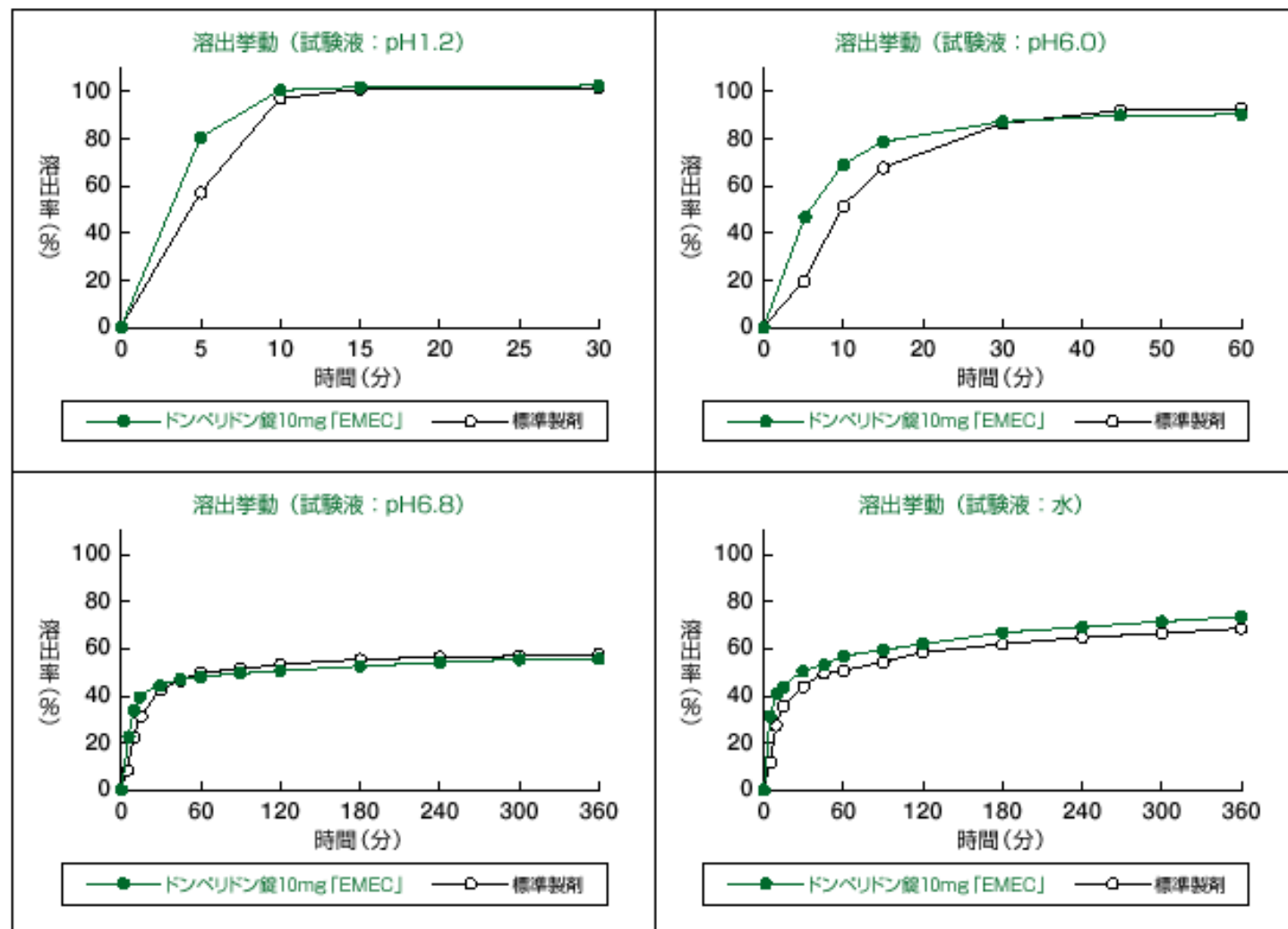
〈品質再評価結果〉

本剤は1999年10月に品質再評価が終了し、医療用医薬品品質情報集NO.2に掲載されている。

●公的溶出試験への適合性

局外規第三部ドンペリドン錠に従い試験するとき、45分間の溶出率が75%以上であった。

●本剤と標準剤の溶出挙動



No.12

Orange Book

薬事日報社

医療用医薬品 品質情報集

付録

日本薬局方外医薬品規格
第三部

アセトアミノフェン
アセメタシン
アルミノプロフェン
イブリフラボン
エモルファゾン
塩酸イソクスプリン
塩酸ジラセブ
塩酸チアラミド
塩酸プロホルミン
塩酸プロカルバジン
塩酸フロムヘキシン
L-塩酸メチルシステイン
クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム
グリクラジド
クロモグリク酸ナトリウム
ザルトプロフェン
セフィキシム
セフジニル
ドキシフルリジン
トラニラスト
トリロスタン
ニトレンジピン
フェノプロフェンカルシウム
フェンブフェン
ブコローム
フルフェナム酸アルミニウム
メシル酸シメトチアジン

財団法人 日本公定書協会 編

平成14年3月版

日本版オレンジブック

品質情報集『日本版オレンジブック』はアメリカにならない、「後発医薬品の使用促進」を実現すべく、ジェネリック品の品質を裏付けるために行われた「品質再評価」の結果を掲載したもの

2008年6月

品質再評価はこれまで4265品目実施し、うち3905品目が適応、359品目が不適応
適応品目は医療用医薬品品質情報集（日本版オレンジブック）に収載される。

ファモチジン日米欧局方規格

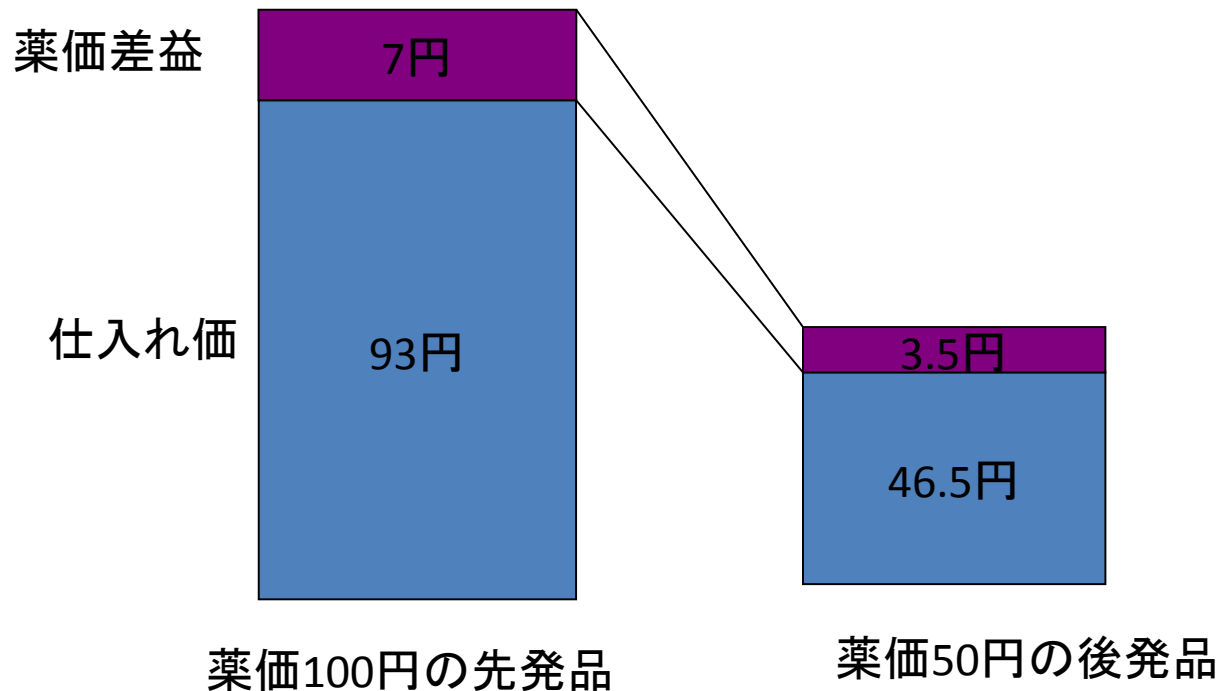
日本の規格は米国、ヨーロッパより厳しい

	日局 14 (2001年)～	USP 23 (1995年)～	EP 5.0 (2005年)～
原薬不純物	0.5% 以下	1% 以下	1% 以下
錠剤中含量	94～106%	90～110%	未収載
注射剤中 不純物	1% 以下	未収載	未収載

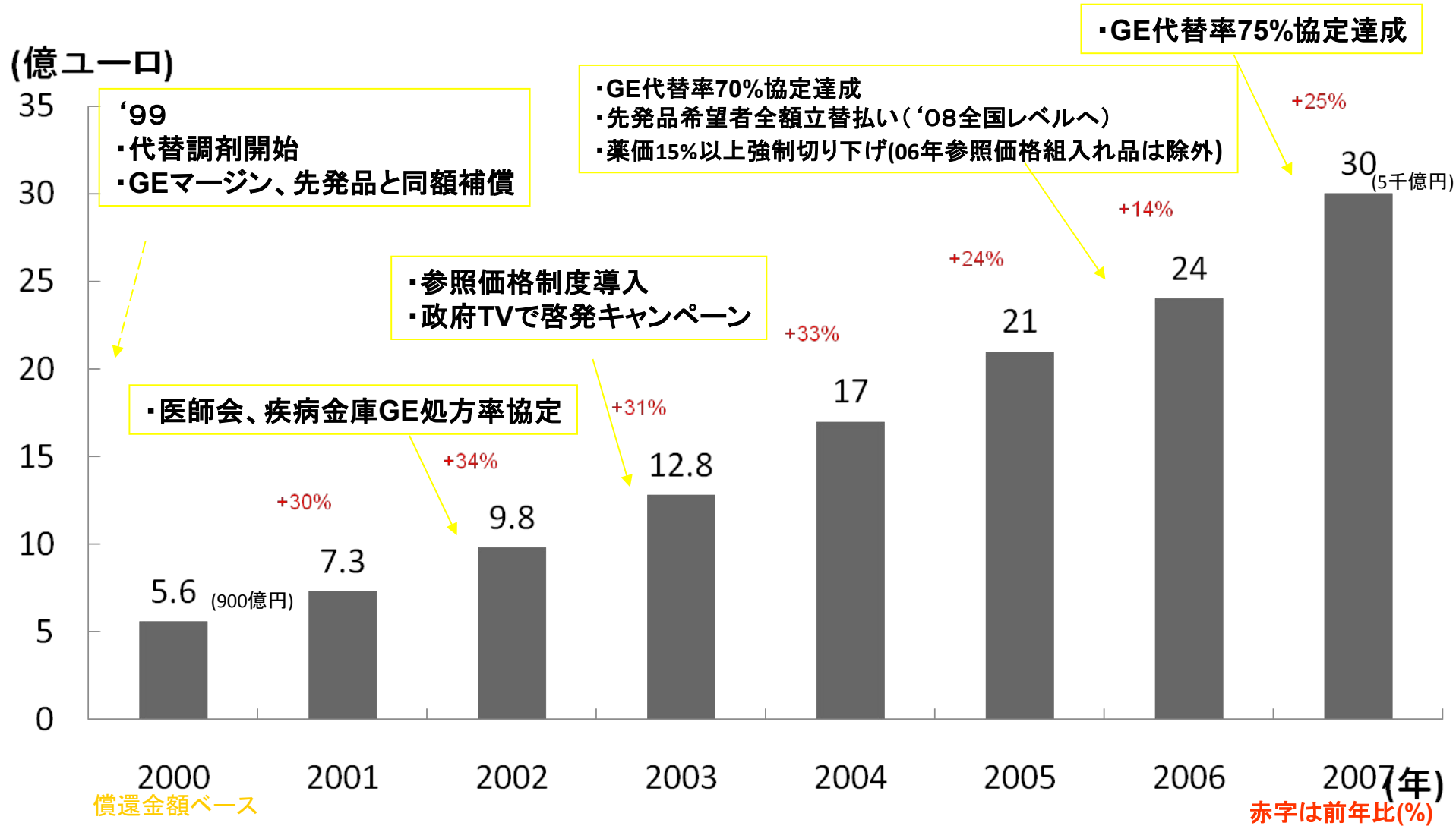
普及しない理由その2
低い薬価差益

薬価差益問題

- まだまだ薬価差は7%と大きい
- 出来高払いの環境下では薬価差益が薬局や医療機関の収入源



フランスのジェネリック政策



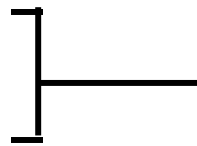
パート3

三田病院への導入事例から



急性期入院の包括支払制 DPCとは？

手術・麻酔
薬剤料、特定治
療材料
高額処置
放射線治療

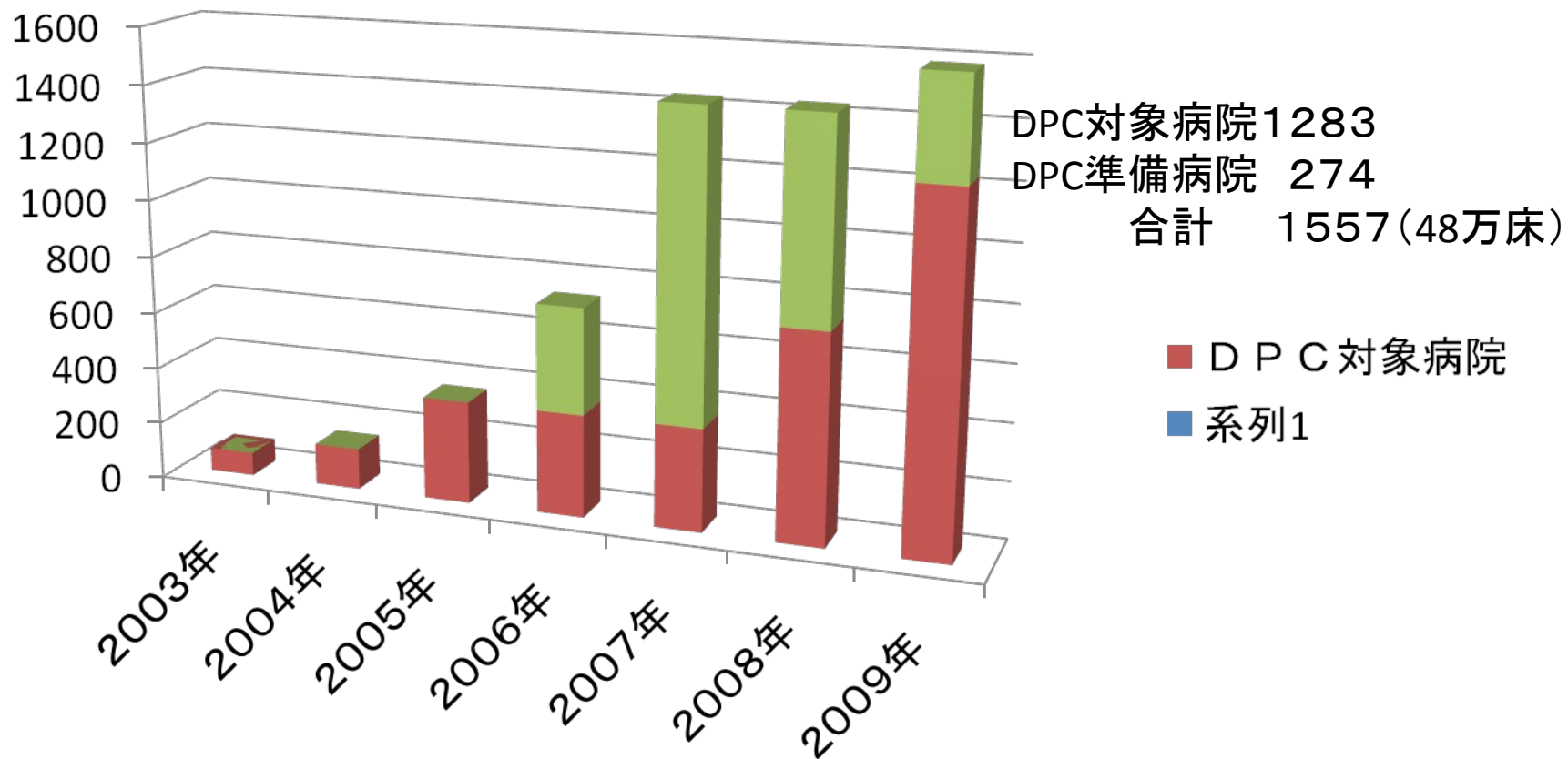


入院基本料(38.9%)
検査(10.4%)
画像診断(6.6%)
投薬、注射(13.9%)
処置

- 出来高払い(30%)
(ドクターフィー)
- 包括払い(70%)
(ホスピタルフィー)

包括払いでは、どんなに医薬品や検査をしようが、
一定額の支払い！

DPC関連病院の拡大



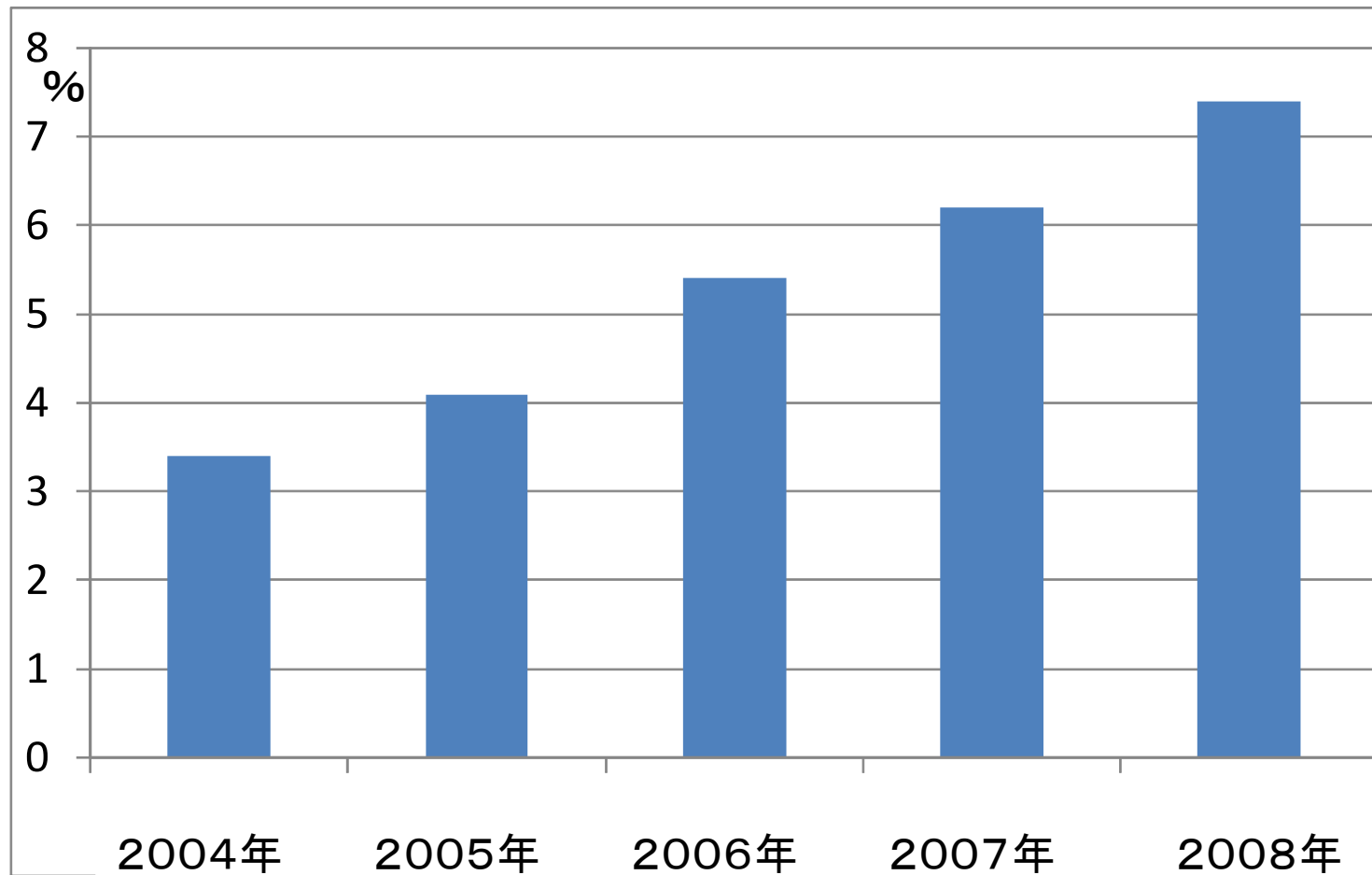
DPCによる医薬品の変化

中医協DPC評価分科会より

2005年4月12日

DPC対象病院・準備病院における ジェネリック医薬品使用状況

%



2009年5月中医協DPC評価分科会資料

どんな後発品が 増えたのか？

DPC病院58病院の2005年10月と
2006年10月を比べてみる
(DPC分析ソフト「ヒラソル」)

銘柄別抗菌剤の使用状況

- 2005年-2006年と継続してDPCデータが存在する17病院 約20,000症例
- 周術期の予防投与として抗菌剤が使用されたと思われる症例をピックアップ

	2005年		2006年	
	銘柄	使用比率	銘柄	使用比率
1	セファメジン α 注射用 1g	14.1%	セファメジン α キット 1g(生理食塩液100mL付)	10.3%
2	セファメジン α キット 1g(生理食塩液100mL付)	11.8%	セファメジン α 注射用 1g	10.0%
3	ユナシン-S静注用1.5g	6.0%	★オーツカCEZ注-MC 1g(生理食塩液100mL付)	8.0%
4	フルマリンキット静注用1g (生理食塩液100mL付)	5.1%	ユナシン-S静注用1.5g	4.5%
5	セフメタゾン静注用1g	4.8%	フルマリン静注用1g	4.0%
6	パンスポリン静注用1gバッグS (生理食塩液100mL付)	3.9%	★ラセナゾリン注射用 1g	3.7%
7	セフメタゾンキット点滴静注用1g (生理食塩液100mL付)	3.6%	セフメタゾンキット点滴静注用1g (生理食塩液100mL付)	3.0%
8	フルマリン静注用1g	3.2%	パンスポリン静注用1gバッグS (生理食塩液100mL付)	2.9%
9	セファメジン α キット 2g(生理食塩液100mL付)	3.1%	パンスポリン静注用1g	2.5%
10	スルペラゾン静注用1g (生理食塩液100mL付)	3.0%	セフメタゾン静注用1g	2.4%

X線造影剤

オムニパーク	採用 病院数
イオパーク300シリンジ 64.71%100mL	13
イオパーク300 64.71%100mL	9
イオパーク350 75.49%100mL	9
イオパーク300 64.71%20mL	8
モイオパーク300シリンジ 64.71%100mL	7
イオパーク300 64.71%50mL	6
イオパーク350 75.49%50mL	5
イオパーク350シリンジ 75.49%100mL	4
モイオパーク300注バッグ 64.71%100mL	4
イオパーク350 75.49%20mL	3
イオパーク300シリンジ 64.71%50mL	2
イオベリン注300 64.71%100mL	2
イオパーク300シリンジ 64.71%80mL	2
イオベリンシリンジ300 64.71%80mL	1
イオベリンシリンジ350 75.49%100mL	1
イオベリン注300 64.71%20mL	1

イオパミロン	採用 病院数
オイパロミン370 75.52%100mL	35
オイパロミン300シリンジ 61.24%100mL	28
オイパロミン300 61.24%100mL	27
オイパロミン370 75.52%50mL	24
オイパロミン370 75.52%20mL	21
オイパロミン300 61.24%20mL	20
オイパロミン370シリンジ 75.52%100mL	20
オイパロミン300 61.24%50mL	16
モイオパミン300シリンジ 61.24%100mL	7
オイパロミン300シリンジ 61.24%50mL	6
オイパロミン300シリンジ 61.24%80mL	5
オイパロミン150 30.62%50mL	2
モイオパミン370シリンジ 75.52%100mL	2
オイパロミン370シリンジ 75.52%80mL	1
オイパロミン150 30.62%200mL	1
モイオパミン300シリンジ 61.24%50mL	1

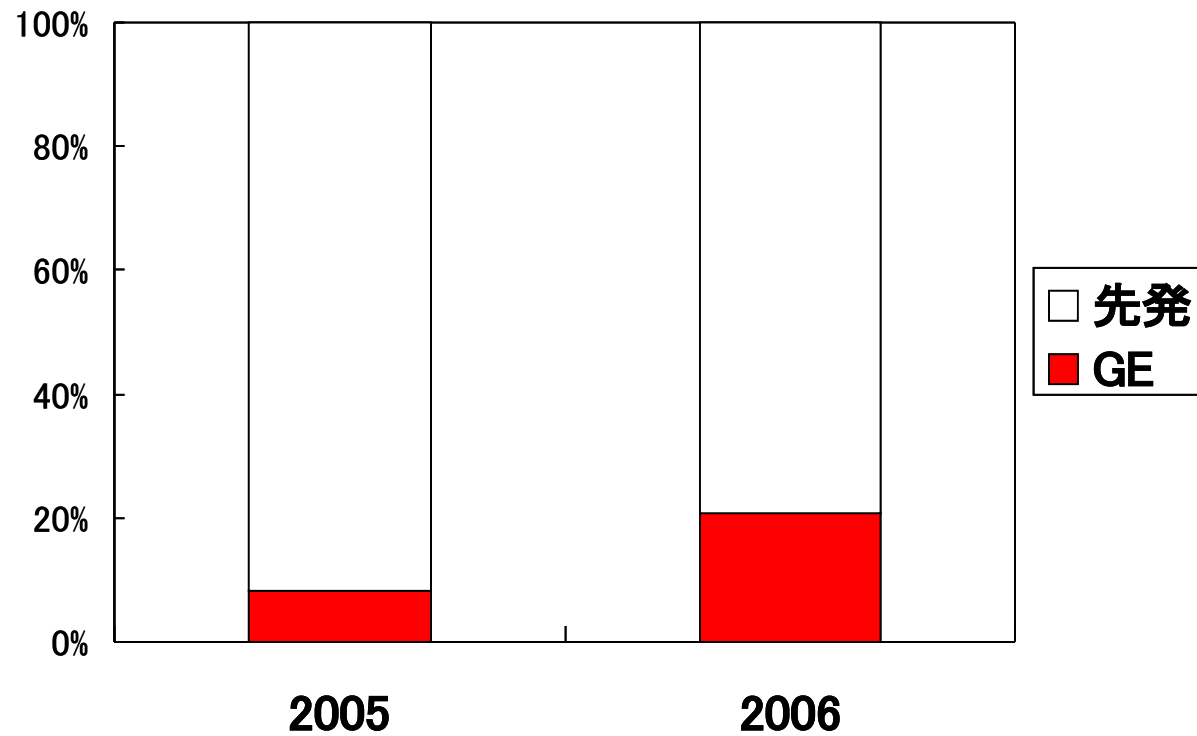
抗がん剤においてよく使用されたジェネリック薬

2006.7-11 150病院DPCデータ (株)メディカルアーキテクツによる分析

薬剤名	分類名	症例数
620000216:★カルボメルク注射液1% 150mg15mL	4291403:パラプラチン	686
644290002:★プラトシン注10 10mg20mL	4291401:ランダ	375
620002932:★カルボメルク注射液1% 50mg5mL	4291403:パラプラチン	358
620000217:★カルボメルク注射液1% 450mg45mL	4291403:パラプラチン	326
640406088:★シスプラチン注「マルコ」 10mg20mL	4291401:ランダ	280
620002905:★塩酸エピルビシン注10mg「メルク」	4235404:ファルモルビシン	225
620002930:★カルボプラチン注射液1%「ヘキサル」 150mg15mL	4291403:パラプラチン	198
644290004:★プラトシン注50 50mg100mL	4291401:ランダ	194
640406090:★シスプラチン注「マルコ」 50mg100mL	4291401:ランダ	179
620000232:★シスプラメルク注射液0.05% 50mg100mL	4291401:ランダ	138
640406089:★シスプラチン注「マルコ」 25mg50mL	4291401:ランダ	113
620004170:★パクリタキセル注30mg/5mL「NK」	4240406:タキソール	112
620002931:★カルボプラチン注射液1%「ヘキサル」 450mg45mL	4291403:パラプラチン	109

ランダ

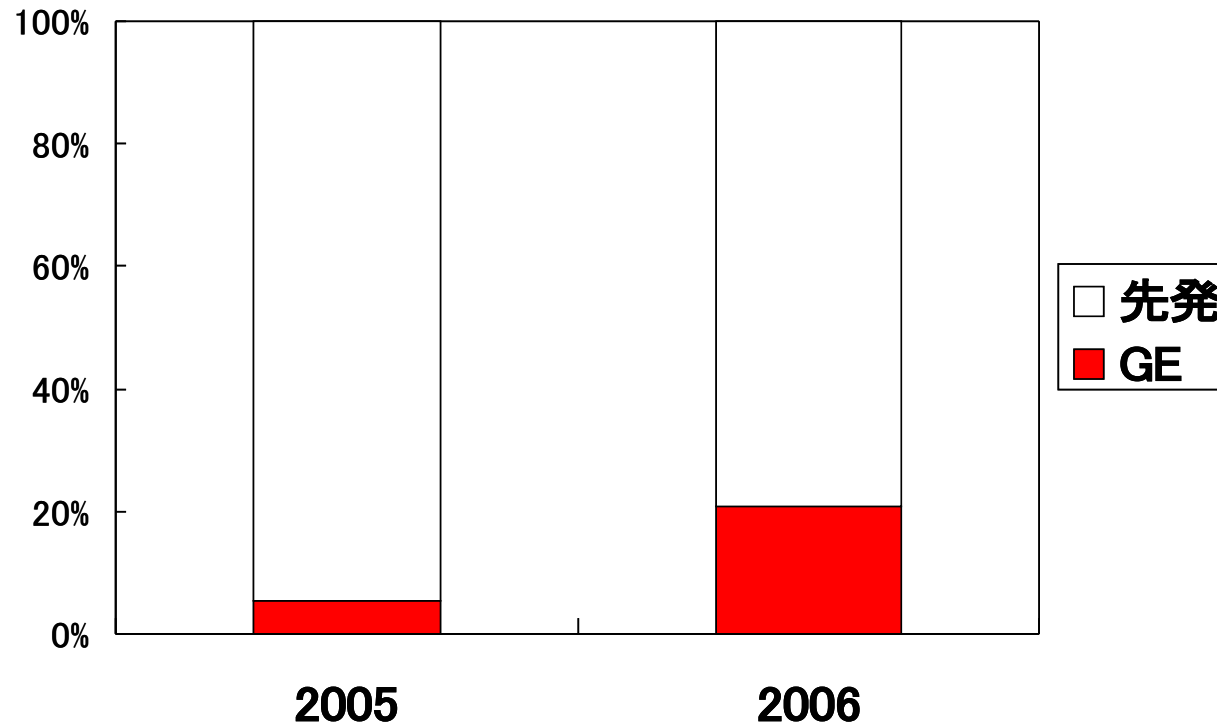
ジェネリック使用率の推移(症例数ベース)



2005.7-10、2006.7-11 150病院DPCデータ (株)メディカルアーキテクツによる分析

パラプラチン

ジェネリック使用率の推移(症例数ベース)



2005.7-10、2006.7-11150病院DPCデータ (株)メディカルアーキテクツによる分析

医療福祉大学

三田病院のDPC導入と ジェネリック医薬品



国際医療福祉大
三田病

～08年7月からDPC突入～

ジェネリック医薬品への 置き換え

注射薬65品目の一斉置き換え

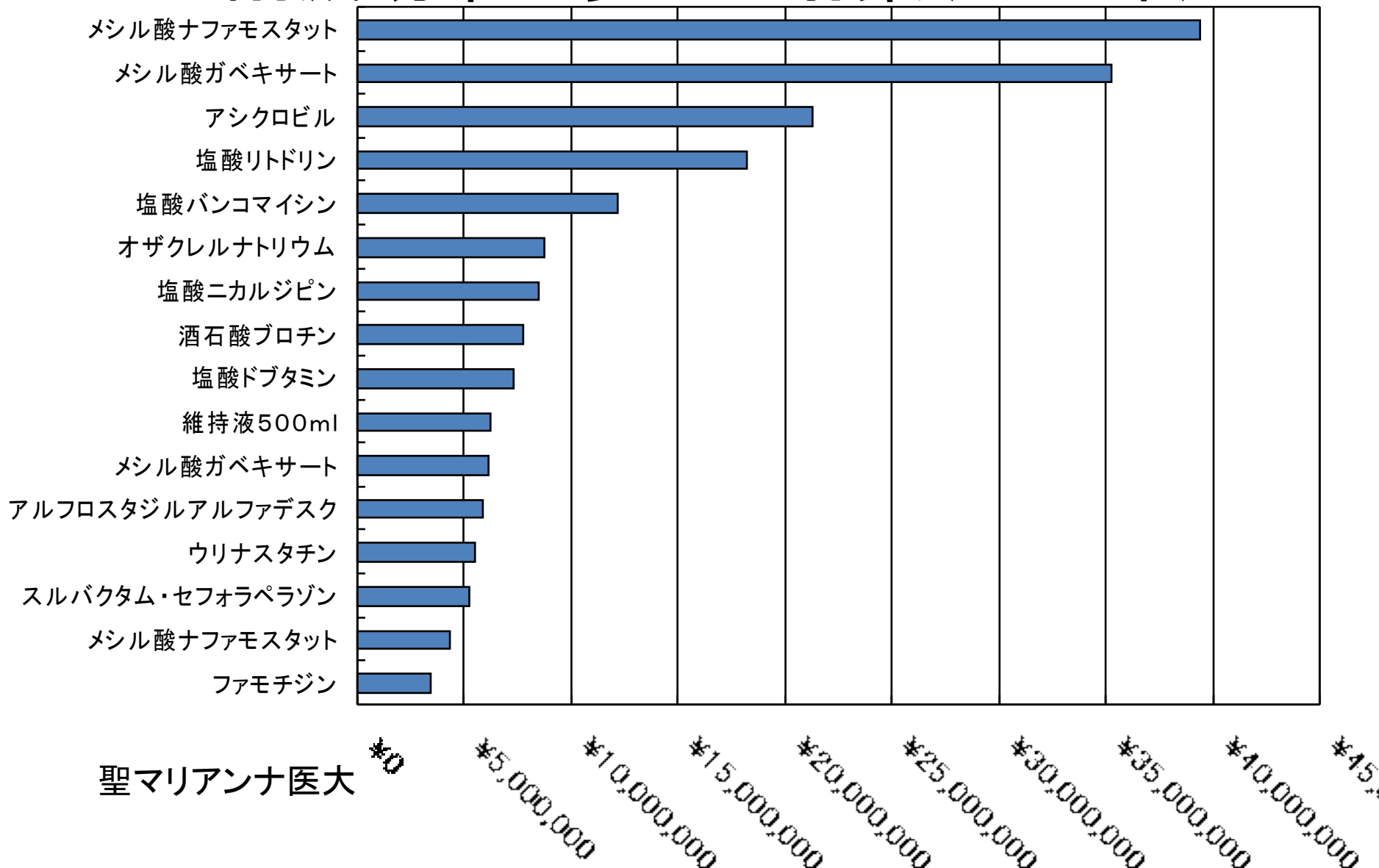
三田病院におけるジェネリック医薬品 切り替え方針

- 入院における注射薬について7月1日から切り替え、一段落したら次に内服外用薬を切り替え
- ジェネリック医薬品の選定方針
 - 国際医療福祉大学グループ3病院で使用している注射薬600品目のうちジェネリック医薬品が存在するのが300品目
 - 流通上の問題のあるもの、先発品と比較してコスト差があまりないもの等の整理を行い、約150品目に絞込み
 - 入院中心で使用されると想定される薬剤および造影剤に、更に絞って整理し65品目とした。
 - 流通に関しては、直納品ではなく大手卸会社経由のものにて選定。

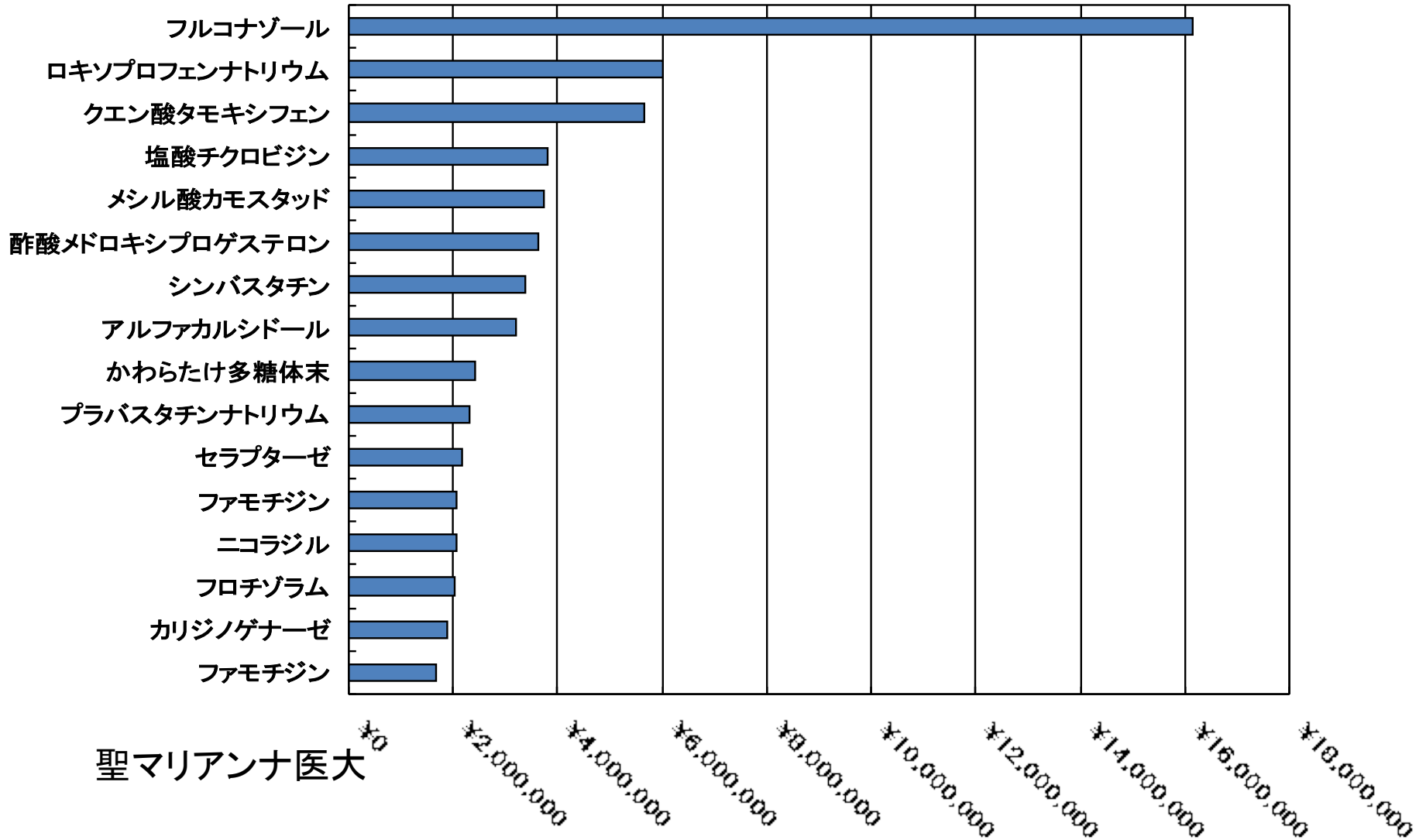
聖マリアンナ医大の事例も参考にした

- 2003年4月1日よりDPC導入
- 全採用品目数約1700品目、年間医薬品購入費50億円
- 67品目の注射剤を先発品から後発品に切り替え→年間2億円の削減効果
- 切り替えプロセス
 - 後発品のあるすべての注射薬120–130品目について検討
 - 品質、情報、安定供給を確認したうえで、67品目を切り替え

削減効果の多い注射薬（2005年）



削減額の大きい内服薬(2005年)



聖マリアンナ医大

■ 削減額

三田病院後発品置き換え品目

先発薬品名	規格・単位	会社名	後発薬品名	規格・単位	会社名
1 アデラヒン 9号	1mL 1A	三和化学	リハレス注	1mL 1A	日医工
2 アネキセート注射液 0.5mg	0.5mg 5mL 1A	アステラス	フルマゼニル注射液0.5mg「F」	0.5mg 5mL 1A	富士
3 アミノレバン ソフトバッグ	500mL 1B	大塚	ヒカリレバン	500mL 1B	光製薬
4 イノバン注 100mg	100mg 5mL 1A	協和	トパミン塩酸塩点滴静注用100mg「アイロム」	100mg 5mL 1A	アイロム
5 イントラリス 20% ソフトバッグ	20% 100mL 1B	大塚	イントラファット注20%	20% 100mL 1B	武田
6 ヴィーンF 注	500mL 1バイアル	興和	ソリュージェンF	500mL 1V	アイロム
7 エフォーワイ注射用 100	100mg 1バイアル	小野	注射用プロビートル100mg	100mg 1バイアル	日医工
8 塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1バッグ	持田	塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1バッグ	アイロム
9 塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1バッグ	持田	塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1バッグ	アイロム
10 塩酸バンコマイシン点滴静注用	0.5g 1バイアル	塩野義	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	0.5g 1バイアル	光製薬
11 キサンホン注射用 20mg	20mg 1バイアル	キッセイ	キサロット点滴静注20mg	20mg 1mL 1アンプル	アイロム
12 グリセオール注 バッグ	200mL 1バッグ	中外	グリセレブ	200mL 1バッグ	テルモ
13 シグマート注 2mg	2mg 1バイアル	中外	ニコランジル点滴静注用2mg「サワイ」	2mg 1バイアル	沢井
14 シグマート注 48mg	48mg 1バイアル	中外	ニコランジル点滴静注用48mg「サワイ」	48mg 1バイアル	沢井
15 ルパラゾン静注用 1g	1g 1バイアル	ファイザー	バクフォーゼ 静注用1g	1g 1バイアル	サント
16 セファメジンα 点滴用 1g キット	1g 1キット	アステラス	ラセナゾリン注射用 1g	1g 1バイアル	日医工
17 セファメジンα 注射用 1g	1g 1バイアル	アステラス	ラセナゾリン注射用 1g	1g 1バイアル	日医工
18 セフメタゾールNa 点滴静注用 1g	1g 1キット	第一三共	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	1g 1バイアル	ニプロファーマ
19 セフメタゾールNa 静注用 1g	1g 1バイアル	第一三共	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	1g 1バイアル	ニプロファーマ
20 セルシン注射液 10mg	10mg 1A	武田	ジアセパム注射液10mg「タイヨー」	10mg 1A	大洋

三田病院後発品置き換え品目

21	ソビラックス点滴静注用 250	250mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	GSK
22	ソリターT 3号	200mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	味の素
23	ソリターT 3号	500mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	味の素
24	ソル・メドロール 125mg	125mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ファイザー
25	ソル・メドロール 500mg	500mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ファイザー
26	ソルダクトン 100mg	100mg 1A	ファイザー
27	タキソール注射液 30mg	30mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	ブリストル
28	タキソール注射液 100mg	100mg 16.7mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	ブリストル
29	タラシン S注射液 600mg	600mg 1A	ファイザー
30	デキサロン注射液 4mg	3.3mg 1mL 1A	万有
31	ドブトレックス注射液 100mg	100mg 1A	塩野義
32	トランサミン注 10%	10% 10mL 1A	第一三共
33	ドルミカム注射液 10mg	10mg 2mL 1A	アステラス
34	ハベガシン注射液 100mg	100mg 2mL 1A	明治
35	パラパラチン注射液 50mg	50mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	ブリストル
36	パラパラチン注射液 150mg	150mg 15mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	ブリストル
37	パラパラチン注射液 450mg	450mg 45mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	ブリストル
38	パンスポリン静注用 1gﾊﾞｯｸﾞS	1g 1ｷｯﾄ	武田
39	パントール注射液 100mg	100mg 1A	トーアエイ
40	パントール注射液 500mg	500mg 1A	トーアエイ
41	ヒルトニン 0.5mg 注射液	0.5mg 1A	武田

アシクロビル注250mg「科薬」	250mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ポーラ
ヒシナルク3号輸液	200mL 1ﾊﾞｯｸﾞ	ニプロファーマ
ヒシナルク3号輸液	500mL 1ﾊﾞｯｸﾞ	ニプロファーマ
注射用ソル・メルコート125	125mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	富士
注射用ソル・メルコート500	500mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	富士
ﾊﾞﾈﾄﾐﾝ静注用100mg	100mg 1A	大洋
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注射液30mg「NK」	30mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	日本化薬
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注射液100mg「NK」	100mg 16.7mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	日本化薬
クリダマシン注600mg	600mg 1A	ニプロファーマ
デキサート注射液	3.3mg 1mL 1A	富士
ﾄﾞﾌﾞﾀﾐﾝ点滴静注用100mg「アイロム」	100mg 1A	アイロム
トランサホン注1g	10% 10mL 1A	ニプロファーマ
ミダゾラム注10mg「サント」	10mg 2mL 1A	サント
デコンタシン注射液100mg	100mg 2mL 1A	大洋
ｶﾙﾌﾞﾌﾟﾗﾁﾝ点滴静注用50mg「サント」	50mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
ｶﾙﾌﾞﾌﾟﾗﾁﾝ点滴静注用150mg「サント」	150mg 15mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
ｶﾙﾌﾞﾌﾟﾗﾁﾝ点滴静注用450mg「サント」	450mg 45mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
ﾊﾟｾﾄｸｰﾙ静注用1g	1g 1ﾊﾞｲｱﾙ	ニプロファーマ
ﾊﾝﾃﾆｰﾙ注100mg	100mg 1A	アイロム
ﾊﾝﾃﾆｰﾙ注500mg	500mg 1A	アイロム
ヒシダリン注0.5mg	0.5mg 1A	ニプロファーマ

三田病院後発品置き換え品目

42	ブスコパン注射液	2% 1mL 1A	N・B・I
43	プロスタルモン・F注射液 1000	1mg 1mL 1A	小野
44	1% プロホ・フォル注「マルイシ」	200mg 20mL 1A	丸石
45	ペルジピン注射液 2mg	2mg 2mL 1A	アステラス
46	ペルジピン注射液 10mg	10mg 10mL 1A	アステラス
47	ヘルベッサー注射用 10mg	10mg 1A	田辺三菱
48	ヘルベッサー注射用 50mg	50mg 1A	田辺三菱
49	ペントシリン注射用 1g	1g 1バイアル	大正富山
50	ペントシリン静注用 2g パック	2g 1キット	大正富山
51	ミネラリン注	2mL 1A	日薬
52	セタシン静注用	1g 1バイアル	GSK
53	ラシックス注 20mg	20mg 1A	サノフィA
54	硫酸アミガソ注射液「萬有」	100mg 1A	万有
55	リントロン注 2mg (0.4%)	2mg 0.5mL 1A	塩野義
56	ロセフィン静注用 1g	1g 1バイアル	中外
57	オムニパーク 300	64.71% 20mL 1V	第一三共
58	オムニパーク 300	64.71% 50mL 1V	第一三共
59	オムニパーク 300	64.71% 100mL 1V	第一三共
60	オムニパーク 300 シリンジ	64.71% 100mL 1シリンジ	第一三共
61	オムニパーク 350	75.49% 50mL 1V	第一三共
63	オムニパーク 350	75.49% 100mL 1V	第一三共
64	オムニパーク 350 シリンジ	75.49% 100mL 1シリンジ	第一三共

タゴシッド200mg
シプロキサシ注 300mg
プロスタンディン 20

アステラス
バイエル
小野

ブスコパン注射液	2% 1mL 1A	キョーリン
プロスタモン注1000	1mg 1mL 1A	富士
1% プロホ・フォル注「マイラン」	200mg 20mL 1A	マイラン
サリベックス注0.1%	2mg 2mL 1A	日医工
サリベックス注0.1%	10mg 10mL 1A	日医工
塩酸ジメチルセム注射用10「日医工」	10mg 1A	日医工
塩酸ジメチルセム注射用50「日医工」	50mg 1A	日医工
ビクフェニン注射用1g	1g 1バイアル	日医工
ビクフェニン注射用2g	2g 1バイアル	日医工
メレニック注	2mL 1A	大洋
セタシン静注用1g	1g 1バイアル	光製薬
フロセミド注「ミタ」	20mg 1A	キョーリン
ヘルマトン注100mg	100mg 1A	日医工
リノサル注射液2mg (0.4%)	2mg 1A	わかもと
セフィローム静注用1g	1g 1バイアル	日医工
イオパーク 300	64.71% 20mL 1V	コニカ
イオパーク 300	64.71% 50mL 1V	コニカ
イオパーク 300	64.71% 100mL 1V	コニカ
イオパーク 300 シリンジ	64.71% 100mL 1シリンジ	コニカ
イオパーク 350	75.49% 50mL 1V	コニカ
イオパーク 350	75.49% 100mL 1V	コニカ
イオパーク 350 シリンジ	75.49% 100mL 1シリンジ	コニカ

テイコプラニン点滴静注用200mg
シプロフロキサシン点滴静注液300mg
タンデトロン注射用20

日医工
日本ケミファ
高田

置き換えに当たって医師の意見を
聞きました



後発品切り替えに対する医師意見 「ゾビラックス」

- ゾビラックス切り替え（皮膚科医師）
 - ゾビラックス と後発品との違いですが、浸透圧比が1.1 (ゾビラックス) 対して 0.6~0.7 (後発品) と違っており、添加物で水酸化ナトリウムの量が違うようです
 - ヘルペスウイルス性脳炎など、生命予後に大きく影響する疾患に対して使用する重要な薬剤を、使用実績の少ない後発品に変更するのは納得できませんし、責任を持って処方することも出来ません。
- 結論：ゾビラックスは生食に溶解したときの値、後発は注射用蒸留水に溶解したときの値。生食に溶かせば同じ。

後発品切り替えに対する医師意見 「リンデロン」

- 呼吸器科医師

- ジェネリック薬品ですが、リンデロンの注射製剤は残してください。アスピリン喘息の患者では、防腐剤で悪化しますし、コハク酸塩でも使えないことが多いので、リンデロンがジェネリックになった場合安心して使えません。重積発作の場合患者の死亡に繋がりますのでよろしくお願い致します。

- 結論

- 当初採用予定の後発品を別の後発品に変えた(リンデロンの添加物より、添加物の種類の少ない後発品に変えた)

後発品切り替えに対する医師意見 「カイトリル」

- 外科医師

- カイトリルバッグをアンプル製剤の後発品に変えるということに関してですが、ただでさえ抗がん剤の混注に手間がかかるのに、バッグ製剤をやめるとするのは医療安全の面でも逆行しているように思いますのでバッグ製剤のままでご考慮いただければ幸いです。

- 結論

- バック製剤のある後発品に変えた。

後発品切り替えに対する医師意見 「抗がん剤」

- 外科医師

- 抗がん剤の後発薬は安全性や有効性が保障されているのか？合併症発生時や緊急時の情報提供体制は大丈夫か？

- メーカーの説明会を実施

- タキソール→パクリタキセル(日本化薬)
 - パラプラチン→カルボプラチン(サンド)

入院患者さんへジェネリック医薬品のお知らせ

- 当院ではジェネリック医薬品を使用することがあります。
- ジェネリック医薬品に対するご質問がありましたら担当医や薬剤師にお聞きください。
- 患者クレームは2件
 - 医師の入院患者からのクレーム1件のみ「ゾロは使ってもらいたくない！」
 - 抗菌剤アレルギー体質の患者から、抗菌剤のジェネリックを使って欲しくないという要望

医薬品情報担当の薬剤師の役割

DI担当の薬剤師の森さん

- DPC移行に伴うジェネリック医薬品導入では医薬品情報担当の薬剤師の役割が大事
- 医師の質問に対する回答
- 看護師に対するジェネリック医薬品の置き換えに対する情報提供
 - 医師の口頭指示を看護師が後発品対照表を見比べて用意する



持参薬管理

- DPCでは徹底した持参薬管理が必要
 - 入院案内で持参薬の入院時持ち込みのお知らせ
 - 入院時に病棟担当薬剤師が持参薬チェックと術前薬の服薬指導を行う
 - 持参薬の鑑別票を作成
 - 持参薬の病棟保管
 - 退院時に病棟担当薬剤師が持参薬と退院時処方薬の服薬指導を行う

持参薬管理

DPCでは徹底
した持参薬管理
が求められる

7階病棟担当
薬剤師の
石井さん



10.09 10:43



65品目の注射薬の
置き換え評価

ジェネリック医薬品への 置き換え評価

- 名称類似性によるヒヤリハット
 - イノバン(先)→ドパミン(後)
 - ドブトレックス(先)→ドブタミン(後)
 - イノバンの後発をドブタミンと間違えそうになった
 - 注射薬の対照表を作成
- ラセナゾリン副作用1例
 - アナフィラキシー様症状

変更前	変更後
アデラピン9号 (1mL)	リハリス (1mL)
★ アドナ (50mg)	アーツェー (50mg)
アネキセート (0.5mg)	フルマゼニル (0.5mg)
★ アミノグリッド (500mL)	ビーグリード (500mL)
アミルパン (500mL)	ヒカルパン (500mL)
イノバン (100mg)	ドパミン 塩酸塩 (100mg)
イントラリクス (20%100mL)	イントラファット (20%100mL)
グイーンF (500mL)	ソリュージェンF (500mL)
エフォートイ (100mg)	アピトール (100mg)
★ ガスター (20mg)	ガスボート (20mg)
キザンボン (20mg)	キザクロト (20mg)
グリセロール (200mL)	グリセリア (200mL)
シグマート (2mg)	ニコラジル (2mg)
シグマート (48mg)	ニコラジル (48mg)
スルヘララン (1g)	バクアオゼ (1g)
セファジニキット (1g)	ラセナゾリンバイアル (1g)
セファジニバイアル (1g)	
セフメタゾニキット (1g)	セフメタゾールバイアル (1g)
セフメタゾニバイアル (1g)	
セルシン (10mg)	シアゼハム (10mg)
ピピラックス (250mg)	アシナピル (250mg)
ソリタ-T3号200mL	ピナルク3号200mL
ソリタ-T3号500mL	ピナルク3号500mL
ソルダク (100mg)	ヘネグミン (100mg)
ソル・メドロール (125mg)	ソル・メドコート (125mg)
ソル・メドロール (500mg)	ソル・メドコート (500mg)
チキソール (30mg) かん	ハグリタキセル (30mg) かん
チキソール (100mg) かん	ハグリタキセル (100mg) かん
ダラシス (600mg)	クリダマシ (600mg)
★ チェナム (0.5g)	イセハス、ウラスチン (0.5g) かん
デカロン (4mg)	デキサート (4mg)
ドブトレックス (100mg)	ドブタミン (100mg)
トランサミン (1g)	トランサボン (1g)
トルミカム (10mg)	ミダゾラム (10mg)
ハバカシ (100mg)	デコタシン (100mg)
ハラプラチン (50mg) かん	カルボプラチン (50mg) かん
ハラプラチン (150mg) かん	カルボプラチン (150mg) かん
ハラプラチン (450mg) かん	カルボプラチン (450mg) かん
ハンスホリンパック (1g)	ハセケールバイアル (1g)
ハンター (100mg)	ハンチニル (100mg)
ハンター (500mg)	ハンチニル (500mg)
ヒトニン (0.5mg)	ビタリン (0.5mg)
アスコハン (2%1mL)	アズボン (2%1mL)
★ プリンヘラン (10mg)	エリチン (10mg)
アロスタルモン-F (1000μg)	アロストモ (1000μg)
ヘルシピン (2mg)	ザリハックス (2mg)
ヘルシピン (10mg)	ザリハックス (10mg)
ヘルヘッサー (10mg)	塩酸シルチアゼム (10mg)
ヘルヘッサー (50mg)	塩酸シルチアゼム (50mg)
ヘントリリンバイアル (1g)	ピクフェニルバイアル (1g)
ヘントリリンパック (2g)	ピクフェニルバイアル (2g)
ミネラリン	メドレニック
モダシン (1g)	セハダシン (1g)
★ ユダシン (1.5g)	ビシリハクタ (1.5g)
ラシックス (20mg)	フロセド (20mg)
塩酸アミダジン (100mg)	ヘルストン (100mg)
リンデロン (2mg)	リノサール (2mg)
ロセフィン (1g)	セフィロム (1g)

・メーカー変更のみで、品名変更の無い薬品は除外
 ・☆は以前からの変更ですので対応お願いします
 ・■:抗菌薬、抗ウイルス薬、がん、抗がん薬 平成20年6月26日現在

対照表しおりの作成

薬効分類	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬	抗菌薬
後発品写真												
変更後	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「IX」	クリダマシ注600mg	セバダシ静注用1g	セフィローム静注用1g	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	デコタンシ注射液100mg	バクフォーゼ静注用1g	バセトクール静注用1g	ピクフェニ注射用1g	ピクフェニ注射用2g	ペルマン注100mg	ラセナゾリン注射用1g
変更前	塩酸バンコマイシン点滴静注用	ダラシんS注射液	モダシん静注用	ロセファン静注用	セフメタゾン静注用	ハベカシん注射液	スルベラゾン静注用	ハンスホリン静注用1g「バッグS」	ペントシリン注射用1g	ペントシリン静注用2g「バッグ」	硫酸アミカシん注射液	セファメジンα注射用

薬効分類	抗ウイルス薬	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤	循環器用剤
後発品写真												
変更後	アシクロビル注250mg「科薬」	グリセレブ(200mL)	サリベックス注0.1%(2mg)	サリベックス注0.1%(10mg)	ドパミン塩酸塩点滴静注用100mg「A」	ドパミン点滴静注用100mg「A」	ニコランジル点滴静注用2mg「リワイ」	ニコランジル点滴静注用48mg「リワイ」	フロセמיד注「ミタ」	ベネトミン静注用100mg	塩酸ジルチアゼム注射用10「日工」	塩酸ジルチアゼム注射用50「日工」
変更前	ソビラックス点滴静注用	グリセオール	ベルジピン注射液2mg	ベルジピン注射液10mg	イノバン注	ドブトレックス注射液	シグマート注2mg	シグマート注48mg	ラシックス注	ソルダクテン	ヘルベッサー注射用10mg	ヘルベッサー注射用50mg

薬効分類	抗がん剤	抗がん剤	抗がん剤	抗がん剤	抗がん剤	ステロイド剤	ステロイド剤	ステロイド剤	ステロイド剤	神経用剤	神経用剤	神経用剤
後発品写真												
変更後	カルボプラチン点滴静注用50mg「ラント」	カルボプラチン点滴静注用100mg「ラント」	カルボプラチン点滴静注用450mg「ラント」	パクリタキセル注30mg	パクリタキセル注100mg	注射用ソル・メルコート125	注射用ソル・メルコート500	デキサート注射液	リノロサル注射液2mg	シアセム注射液10mg「イコロ」	1%プロポフォール注「マイクシ」	ミダゾラム注10mg「サンド」
変更前	パラプラチン注射液50mg	パラプラチン注射液100mg	パラプラチン注射液450mg	タキソール注30mg	タキソール注100mg	ソル・メドロール125mg	ソル・メドロール500mg	デカドロン注射液	リンデロン注	セルシん注射液	1%プロポフォール注「マイクシ」	ドルミカム注射液

薬効分類	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	輸液・栄養製剤	血液用剤	血液用剤	血液用剤
後発品写真												
変更後	イントラファット注20%(100mL)	ソリュヴェンF	パンテニール注100mg	パンテニール注500mg	ヒカリレバン(500mL)	ヒシナルク3号輸液(200mL)	ヒシナルク3号輸液(500mL)	ムドレニック注	キサクロット注2%	トランサポン注1g	注射用プロボートール100mg	
変更前	イントラリボス20%	ヴィーンF	パントール注射液100mg	パントール注射液500mg	アミノレバン	ソリター-T3号	ソリター-T3号	ミネラリン注	キサンポン注射用	トランサミン注	エフオーワイ注射用	

薬効分類	その他	その他	その他	その他	その他							
後発品写真												
変更後	ヒシダリン注	ブスボン注射液	フルマゼニル注射液0.5mg「F」	フロスタルモン注1000 μg	リバレス注							
変更前	ヒルトニン0.5mg注射液	ブスコパン注射液	アネキセート注射液	フロスタルモン-F注射液	アデラピン9号							

有限責任中間法人
日本ジェネリック医薬品学会

役員紹介

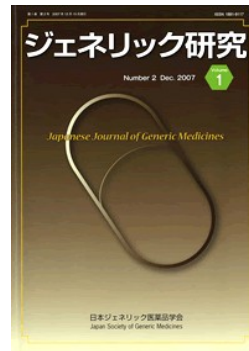
代表理事	武蔵 正樹	国際医療福祉大学院 教授 国際医療福祉総合研究所 所長	
副代表理事	佐藤 博	新潟大学教授、新潟大学歯学総合病院 薬剤部長	
理事	青柳 伸男	国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 顧問	(五十音順)
理事	岩月 進	社団法人 日本薬剤師会 常務理事	
理事	漆畑 稔	日本保険薬局協会 専務理事	
理事	緒方 宏泰	明治薬科大学 名誉教授 国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員	
理事	折井 孝男	NTT東日本関東病院 薬剤部長	
理事	小山 信彌	東邦大学医学部 教授	
理事	佐々木 忠徳	医療法人鉄蕉会・医療本部 薬剤管理部長	
理事	増原 慶壮	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部部長	
理事	三屋 裕子	筑波スポーツ科学研究所 副所長	
理事	村田 正弘	明治薬科大学アドバイザー	
監事	山本 成男	税理士法人 赤坂共同事務所 公認会計士・税理士	
事務局長	細川 修平		

日本ジェネリック医薬品学会の主な活動について

医師・
薬剤師
向けの
主な活動



ジェネリック医薬品
情報システム



学会誌



学会大会の開催
(次回は2010年6月12日大宮開催)

患者
向けの
主な活動



お願いカード



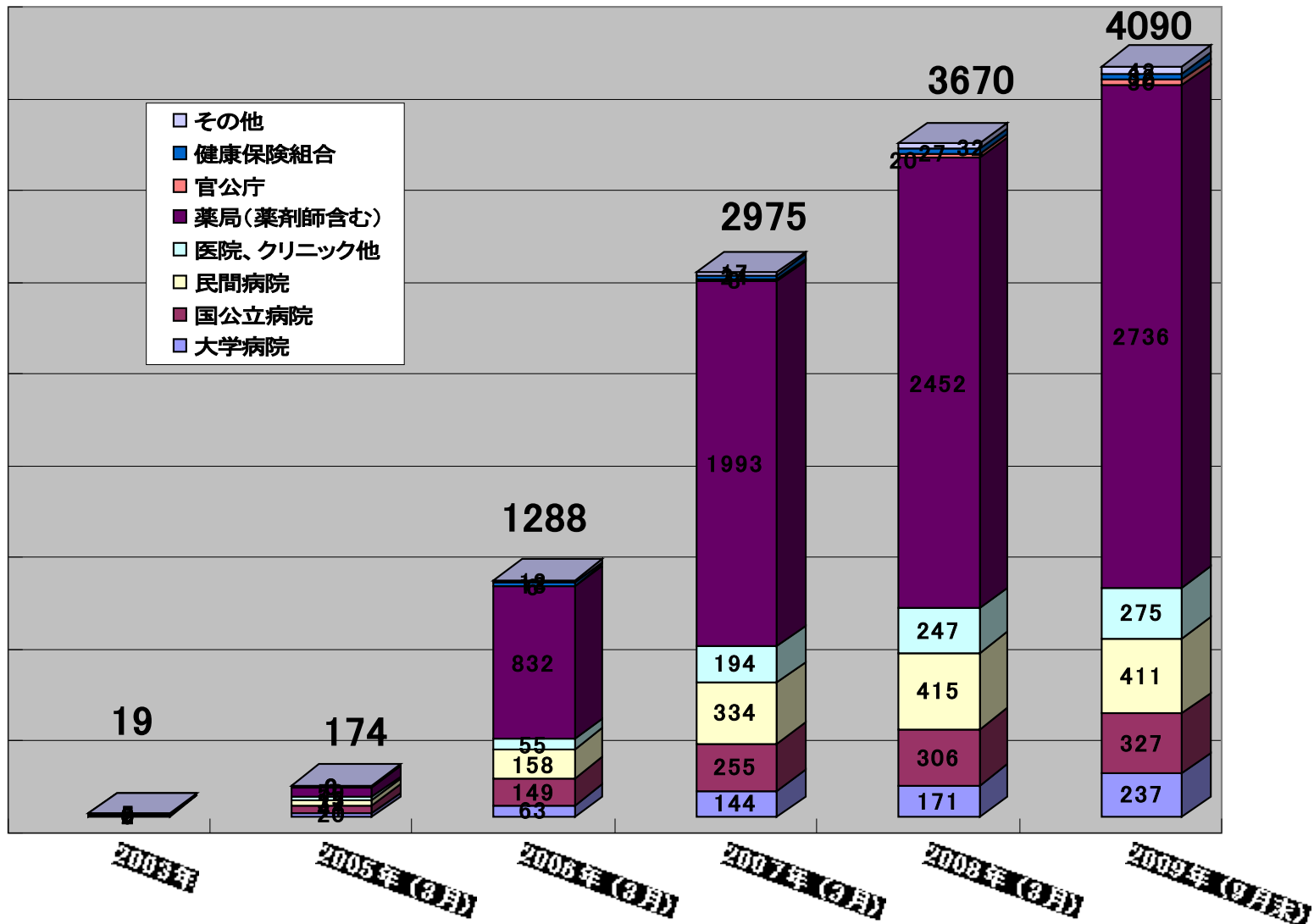
啓発ポスター



患者さんの薬箱

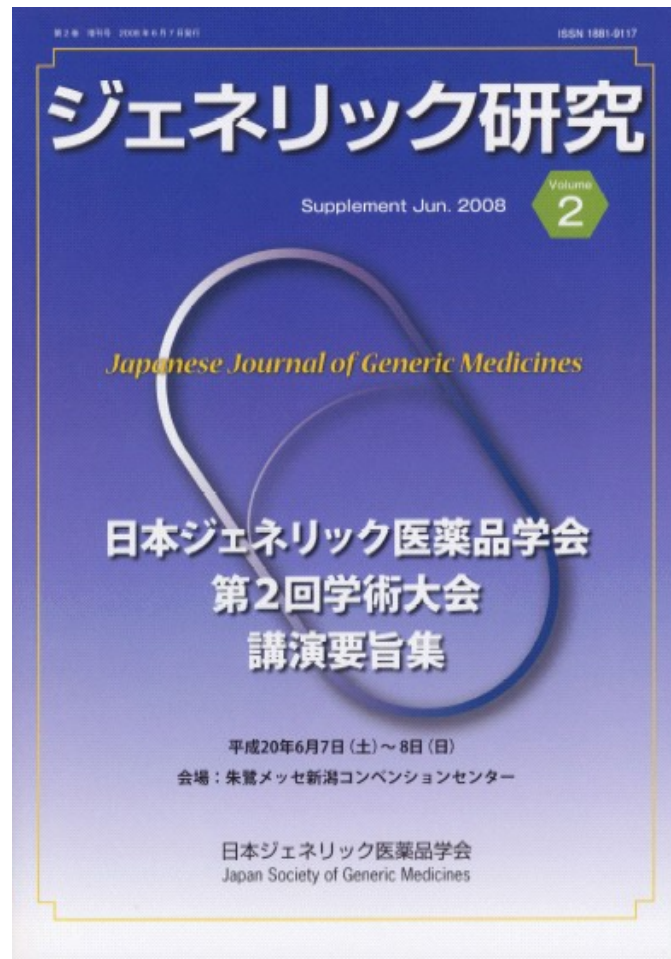


GE推奨マーク



学会誌発行

2009年度は本誌2号とサプリメント1号の発行を予定しております



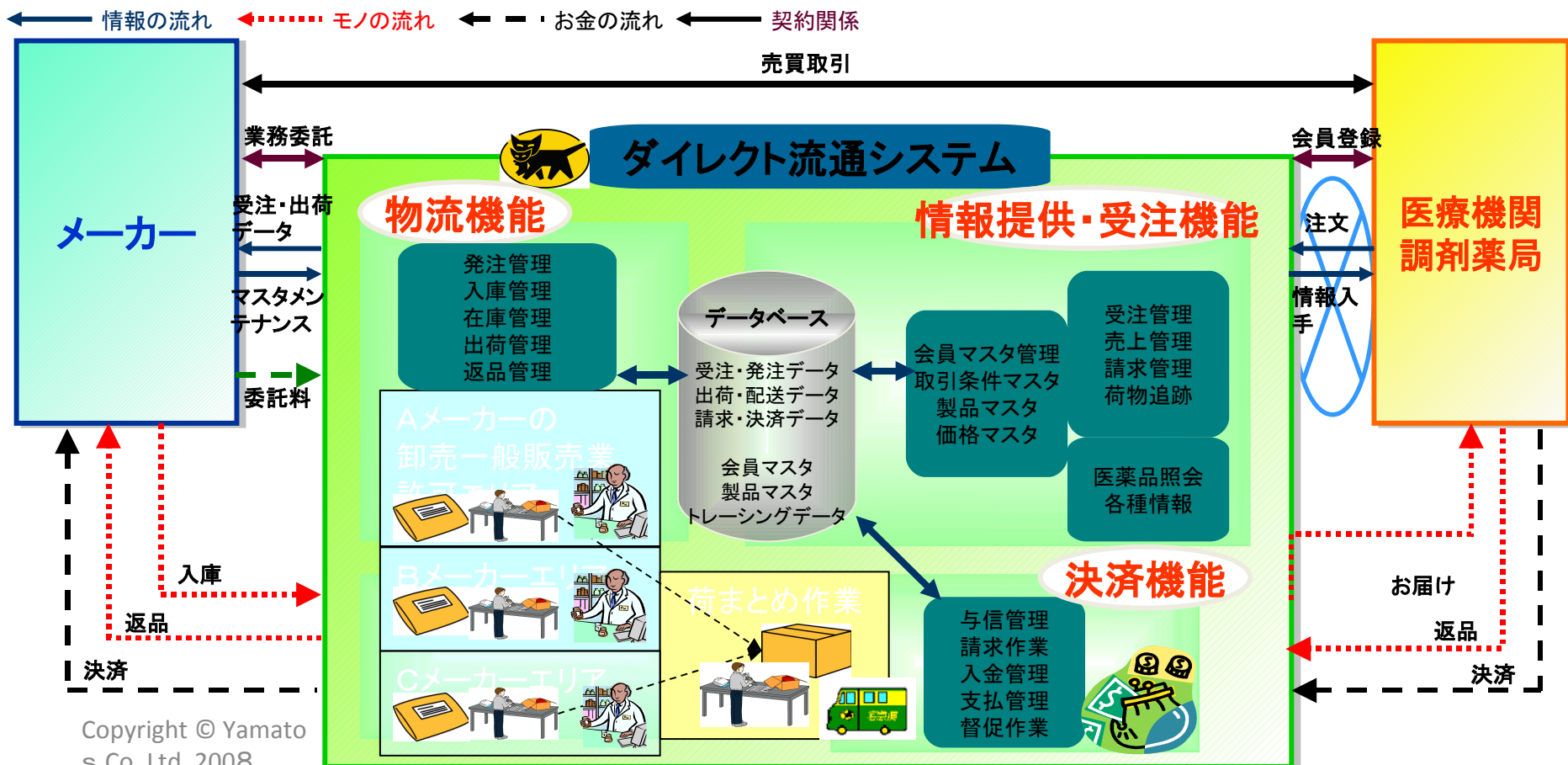
各種委員会

- 編集委員会(委員長 緒方先生)
 - 年2回の学会誌の編集、発刊
- ジェネリック医薬品流通委員会(委員長 増原先生、副委員長 佐々木先生)
 - ジェネリック医薬品の流通に関する検討
 - ヤマトメディカルダイレクト
- ジェネリック医薬品評価委員会(委員長 村田先生)
 - ジェネリック医薬品の備蓄リストの検討評価
- ジェネリック医薬品国際委員会設置(委員長 折井先生)

ヤマトメディカルダイレクト

point

メーカーと購入者が直接売買を行う「ダイレクト流通システム」。
 ヤマトが受注～代金回収まで一連の作業を、メーカーからまとめて受託することで
複数メーカー&複数購入者間での取引をワンストップで実現。



ご清聴ありがとうございました



今日の講演のパワーポイントは武藤正樹のウェブサイトに公開しております。

武藤正樹

検索



グーグルで武藤正樹を検索してください。

お問い合わせは以下に

gt2m-mtu@asahi-net.or.jp

平成21年12月18日

ケースメソッドで考える医療経営

「S大学病院へのジェネリック医薬品導入」

ジェネリック医薬品導入 における、大人の話

財団法人 佐々木研究所附属

杏雲堂病院 薬剤科

森 玄

mori-gen@umin.ac.jp

1. 自己紹介

1. 10年ちよつとの薬剤師の職歴

1. 300床の神奈川にある総合病院

2. 350床の大森にある総合病院

3. 高木グループ

1. 栃木

» なす療育園(国際医療福祉大学敷地内)

» 国際医療福祉大学病院

2. 東京

1. 山王メディカルセンター

2. 国際医療福祉大学 三田病院

4. 現職

2. 高木グループでの経験紹介

1. 薬剤師関連事項

- なす療育園(小児心身障害児施設)での勤務
- 国際医療福祉大学病院の建て替え
- オンコロジーセンターや女性腫瘍センターにおけるがん化学療法への従事
- 医薬品情報(DI)担当

2. 医療経営関連事項

1. グループにおける医薬品の一括購入に関するグループ採用薬の創立及び維持・管理
2. グループ病院DPC導入に伴うジェネリック医薬品の採用(高木病院以外)
3. 三田病院におけるジェネリック医薬品の導入

3. シナリオ作りの余談 その1

1. 導入検討に関する留意点

1. ジェネリック導入による理想の皮算用→1.97億円/年
2. DPC導入施設における薬価と薬価差益
 - 薬価○薬価差益○→グループ採用薬の変更
 - 薬価○薬価差益×→入院用医薬品
 - 薬価×薬価差益○→外来用医薬品

3. 検討事項

- 入院での使用と外来での使用の比率は？
 - 誰かが管理できる状態か否か？
 - 保管場所はあるか？
 - ところで造影剤は？
- その他検討方法→ 先発医薬品の再見積

3. シナリオ作りの余談 その2

会社	品名	規格・単位	会社	後発薬品名	規格・単位	卸	備考	詳細
中外	カイトリル点滴静注用 3mg パック	3mg 100mL 1パック	光製薬	ガラセトロン点滴静注3mgパック「HK」	3mg 100mL 1パック	アルフレック	DPC施設のみ切替	バック製剤の後発発売(7/4)を含め再検討
塩野義	リソテロシ注 2mg (0.4%)	2mg 0.5mL 1A	わかもと	リソサルジ注注射液2mg (0.4%)	2mg 1A	アルフレック	DPC施設のみ切替	
ファイザー	ソル・外注 125mg	125mg 1バイアル	富士	注射用ソル・外注125	125mg 1バイアル	スズケン	DPC施設のみ切替	
ファイザー	ソル・外注 500mg	500mg 1バイアル	富士	注射用ソル・外注500	500mg 1バイアル	スズケン	DPC施設のみ切替	
万有	デキサトロン注射液 4mg	3.3mg 1mL 1A	富士	デキサトロン注射液	3.3mg 1mL 1A	スズケン	DPC施設のみ切替	
大正薬	ヘントシリン注射用 1g	1g 1バイアル	日医工	ヒクフェニジ注射用1g	1g 1バイアル	クラヤ	DPC施設のみ切替	
大正薬	ヘントシリン静注用 2g パック	2g 1キット	日医工	ヒクフェニジ注射用2g	2g 1バイアル	クラヤ	DPC施設のみ切替	
GSK	ソヒラックス点滴静注用 250	250mg 1バイアル	ホーラ	アソクロビル注250mg「科薬」	250mg 1バイアル	クラヤ	DPC施設のみ切替	
アリスト	タキソール注射液 30mg	30mg 5mL 1バイアル	日本北薬	ハクシタキセル注射液30mg「NK」	30mg 5mL 1バイアル	スズケン	DPC施設のみ切替	
アリスト	タキソール注射液 100mg	100mg 16.7mL 1バイアル	日本北薬	ハクシタキセル注射液100mg「NK」	100mg 16.7mL 1バイアル	スズケン	DPC施設のみ切替	
サノア	ラジックス注 20mg	20mg 1A	キューリン	アロセド注「改」	20mg 1A	アルフレック	DPC施設のみ切替	ご意見に沿って変更しました。
味の素	リター-T 1号	200mL 1バイアル					切替なし	
味の素	リター-T 1号	500mL 1バイアル					切替なし	
味の素	リター-T 3号	200mL 1バイアル	コフコ	シナルタ3号輸液	200mL 1パック	スズケン	DPC施設のみ切替	名称整理等のご意見をいただき、検討した結果、3号のみの変更といたしました。
味の素	リター-T 3号	500mL 1バイアル	コフコ	シナルタ3号輸液	500mL 1パック	スズケン	DPC施設のみ切替	
味の素	リター-T 3号 G	200mL 1バイアル					切替なし	
味の素	リター-T 3号 G	500mL 1バイアル					切替なし	
武田	ハンスボリン静注用 0.25g	250mg 1バイアル					削除(1gで対応)	
武田	ハンスボリン静注用 1g パックS	1g 1キット	コフコ	ハセトケル静注用1g	1g 1バイアル	スズケン	DPC施設のみ切替	使用量から、1gのみの採用で、ご了解いただきました。
丸石	1% フコポフォール注「マルイシ」	200mg 20mL 1A	マイソン	1% フコポフォール注「マイソン」	200mg 20mL 1A	クラヤ	グループ全体切り替え	
武田	セルジック注射液 10mg	10mg 1A	大洋	シアゼパム注射液10mg「タイヨー」	10mg 1A	クラヤ	DPC施設のみ切替	
アステラス	トルカム注射液 10mg	10mg 2mL 1A	ザンド	タザラム注10mg「ザンド」	10mg 2mL 1A	クラヤ	DPC施設のみ切替	ご意見はありませんでした。決定とさせていただきます。
N・B・I	アスコパギン注射液	2% 1mL 1A	キューリン	アスコパギン注射液	2% 1mL 1A	アルフレック	DPC施設のみ切替	
協和	イノバシ注 100mg	100mg 5mL 1A	アイム	トクシリン塩酸塩点滴静注用100mg「アイム」	100mg 5mL 1A	クラヤ	DPC施設のみ切替	
持田	塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1パック	アイム	塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1パック	クラヤ	グループ全体切り替え	
持田	塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1パック	アイム	塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1パック	クラヤ	グループ全体切り替え	(販売会社の変更⇒同一商品です。)
塩野義	トフトレックス注射液 100mg	100mg 1A	アイム	トフタシ点滴静注用100mg「アイム」	100mg 1A	クラヤ	DPC施設のみ切替	

実際に使用した資料より

3. シナリオ作りの余談 その3

2. 現場意見に関する留意点

1. 名称類似性は？

- ソル・メドロール → デカコート
- デカドロン → デキサート
- リンデロン → ハイコート

2. 利便性と薬価（仮想価格）

1. カイトリル点滴用バッグ

- 薬価 : 6673円
- 見積もり : 5471.3円 (18.0%)

2. グラニセトロン静注用（バッグが7月4日発売）

1. 薬価 : 3630円
2. 見積もり : 1815円 (50.0%)

3. シナリオ作りの余談 その4

3. 抵抗勢力に関する留意点

1. 先発品メーカーと医師

1. 学会開催費用(700名程度参加の小規模学会)

- 参加費 200万円 20%
- セミナー共催費 600万円 60%
- 広告費 100万円 10%
- 機器展示費 100万円 10%
- 合計金額1,000万円

2. 研究会(100名程度参加の講演会立食あり)

- 350万円…食費+移動費+演者/司会の宿泊費?
- 未採用の医薬品を用いた臨床試験(営業促進?)
- その他営業(あご足つきの、医局内の忘年会?)

3. シナリオ作りの余談 その5

4. 導入された後の留意点

1. 結果

- 6-8月の3ヶ月間における収支は、2,300万円の+

2. 新しい医薬品の導入による抵抗

- ジェネリック医薬品を削除対象とした新薬の導入

3. 同薬効群である先発品医薬品への変更による抵抗

1. 5-Ht3拮抗薬

- | | |
|----------------|----------|
| 1. グラニセトロンの薬価 | : 3,630円 |
| 2. グラニセトロンの納入価 | : 1,815円 |
| 3. セロトーンの薬価 | : 6,107円 |
| 4. セロトーンの納入価 | : 5,207円 |

3. シナリオ作りの余談 その6

直接取材した人々

1. 某S大学病院の勤務医
 - トップダウンの指示
 - 製薬会社営業の必要性
 - 先発医薬品の必要性
2. 某S大学病院から車で10分程度の場所にある保険薬局
 - なんとと言っても在庫が増える
 - なんとと言っても説明に時間が掛かる
 - なんとと言っても特段収入になる訳ではない
3. 千葉県某地区にある診療所門前の保険薬局
 1. 1に営業2に営業、3,4が無くて5に付け届け
 2. 情報入手先は、製薬会社か卸。

4. 最後に

- Take home message
 - ジェネリック医薬品導入は、トップの強い意志と準備が肝要
 - 上意下達だけではない情報共有
 - 基本的に抵抗勢力の抵抗に「内容は無いよう」。
 - でもキチンとした理由…リップル等もある場合がある
 - Win-win-win-winの関係を構築
 - 経営-現場(医師による処方)-現場(薬剤師による調剤)-現場(看護師による与薬)…効果の公表と謝辞は大切
- 謝辞
 - 国際医療福祉大学 大学院 教授 武藤正樹先生
 - 聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 部長 増原慶壮先生